

**第 1 分科会**

**教育相談**

## 第1分科会 教育相談に関する聴取事項の集約結果

主題 関係機関や地域とのつながりを大切にしながら多様なニーズに応える相談支援体制の在り方

### 1 教育相談の現状について(平成27年度実績を記入、表中の数値は回答機関数を表す)

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績 (未回答・未集計は0としてカウント)

#### ① 来所相談の総件数及び総回数

来所相談	件数・回数	0 または未回答	1～100	101～200	201～500	501～1000	1001～2000	2001以上	計
総件数について		10	21	13	9	2	3	2	60
総回数について		10	7	11	13	8	3	8	60

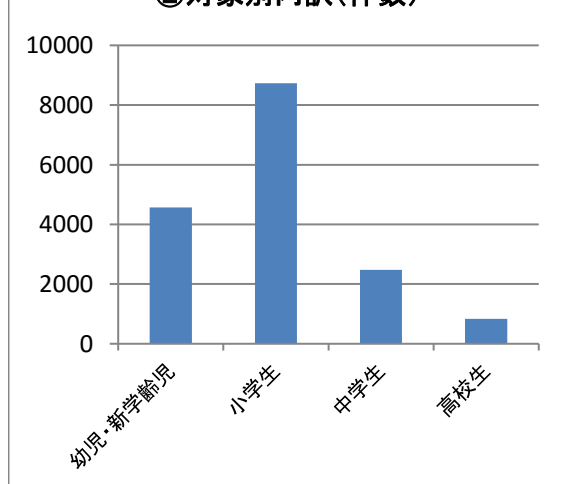
#### ② 対象別内訳

対象	件数・回数	0 または未回答	1～100	101～200	201～300	301～400	401～500	501以上	計
幼児・新学齢児	件数	23	30	2	1	2	0	2	60
	回数	28	23	3	1	1	0	4	60
小学生	件数	15	29	5	1	2	2	6	60
	回数	19	17	5	7	3	1	8	60
中学生	件数	14	38	4	4	0	0	0	60
	回数	18	28	6	4	0	2	2	60
高校生	件数	16	42	1	1	0	0	0	60
	回数	18	35	4	1	0	0	2	60

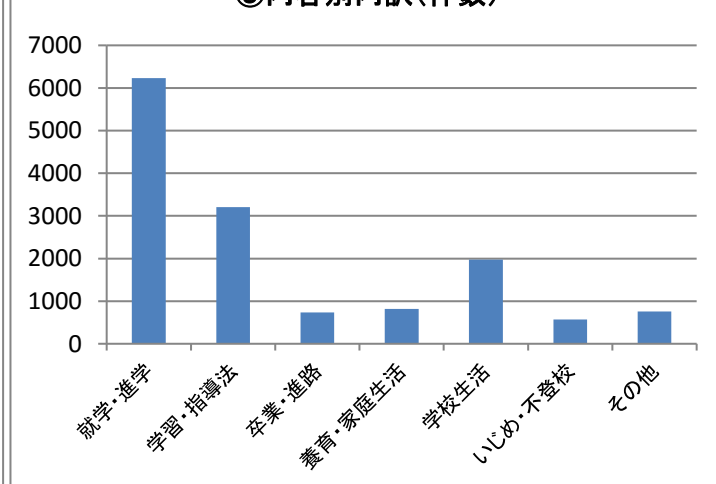
#### ③ 内容別内訳

内容	件数・回数	0 または未回答	1～100	101～200	201～300	301～400	401～500	501以上	計
就学先・進学	件数	32	22	3	0	1	0	2	60
	回数	36	20	1	1	0	1	1	60
学習・指導法	件数	27	24	2	3	3	1	0	60
	回数	30	16	6	0	1	2	5	60
卒業・進路	件数	36	23	0	0	0	0	1	60
	回数	38	20	2	0	0	0	0	60
養育・家庭生活	件数	32	25	3	0	0	0	0	60
	回数	33	21	3	1	1	0	1	60
学校生活 (対人関係等)	件数	28	26	4	0	2	0	0	60
	回数	29	18	6	0	1	3	3	60
いじめ・不登校	件数	37	22	1	0	0	0	0	60
	回数	36	16	6	1	0	0	1	60
その他	件数	32	25	3	0	0	0	0	60
	回数	33	23	3	0	0	0	1	60

②対象別内訳(件数)



③内容別内訳(件数)



#### ④障害別内訳

障害	件数・回数	0	1～100	101～200	201～300	301～400	401～500	501以上	計
		または未回答							
知的障害	件数	28	27	2	1	1	0	1	60
	回数	33	22	2	1	0	0	2	60
自閉症・情緒障害	件数	31	25	2	0	0	0	2	60
	回数	35	17	3	2	1	0	2	60
言語障害	件数	39	20	0	0	1	0	0	60
	回数	43	13	1	2	1	0	0	60
聴覚障害	件数	45	15	0	0	0	0	0	60
	回数	49	11	0	0	0	0	0	60
視覚障害	件数	52	8	0	0	0	0	0	60
	回数	54	6	0	0	0	0	0	60
肢体不自由	件数	41	19	0	0	0	0	0	60
	回数	46	14	0	0	0	0	0	60
発達障害	件数	22	29	3	2	1	0	3	60
	回数	26	16	8	4	2	0	4	60
病弱・身体虚弱	件数	50	10	0	0	0	0	0	60
	回数	53	7	0	0	0	0	0	60
重度・重複	件数	57	3	0	0	0	0	0	60
	回数	58	2	0	0	0	0	0	60



#### ⑤来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

校種	件数・回数	0	1～100	101～200	201～300	301～400	401～500	501以上	計
		または未回答							
小学生	件数	27	23	3	0	2	1	4	60
	回数	29	15	7	1	1	1	6	60
中学生	件数	25	32	3	0	0	0	0	60
	回数	27	27	3	1	1	0	1	60
高校生	件数	28	31	1	0	0	0	0	60
	回数	28	28	3	0	1	0	0	60

#### (2) 特別支援教育に関する電話相談実績

##### ① 電話相談の対象別内訳

対象	回数	0	1～100	101～200	201～300	301～400	401～500	501以上	計
		または未回答							
保護者		15	21	10	2	2	3	7	60
関係教員		26	23	3	2	0	2	4	60
本人		33	26	0	0	0	0	1	60
その他		27	29	1	2	0	1	0	60

##### ② 電話相談の内容別内訳

対象	回数	0	1～100	101～200	201～300	301～400	401～500	501以上	計
		または未回答							
就学・進学		25	31	2	0	1	0	1	60
学習・指導法		23	24	7	2	2	0	2	60
学校生活(対人関係等)		25	23	4	4	1	0	3	60
卒業・進路		37	20	1	2	0	0	0	60
養育・家庭生活		25	30	3	0	0	0	2	60
情報提供		38	19	2	0	0	0	1	60
不登校・いじめ		34	21	3	0	1	0	1	60
その他		21	30	5	0	2	0	2	60



(1) × (4)クロス集計 各機関との連携の課題

	①関連機関連携	②検討・協議時間不足	③関連機関との日程調整	④情報保護と情報共有	⑤連携できる医療機関不足	⑥件数増加による対応	⑦意見調整	⑧役割分担の明確化	⑨継続的な相談	⑩関係職員の専門性
①発達障害者支援センター	2	3	4	6	3	2	1	5	3	0
②医療機関等	4	5	9	5	6	3	4	2	5	0
③療育センター	0	4	3	2	1	5	1	2	0	0
④児童相談所等	1	3	5	7	0	2	1	2	1	0
⑤学校園	4	14	12	14	0	12	14	10	14	15
⑥特別支援学校	1	7	9	8	0	5	2	6	4	10
⑦大学・大学付属機関	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0
⑧市町村教育委員会	3	5	5	9	0	6	3	9	6	7
⑨保健所・保健センター	0	2	2	2	1	0	0	0	1	0
⑩精神保健福祉センター	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
⑪ハローワーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策

①他機関との連携の推進・強化(16)

- ・市町村教育委員会及び特別支援学校との連携
- ・各関係機関の専門性を生かした連携の充実を図りながら、教育センター(教育的支援)としての機能を発揮する。
- ・所管の各市町村教育委員会や学校が同席した教育相談の実施
- ・本センターは、同じ建物に療育センター、発達障がい者支援センターが併設されており、連携した相談支援を行っている。今後、さらにそれぞれの役割を踏まえた効果的な連携を深めたい。
- ・医療機関、臨床心理士、言語聴覚士等との連携
- ・関係機関との連携の機会を捉え、対象となる幼児児童生徒の支援の方向性について十分検討できるよう努める。
- ・関係機関が集まる会議等への積極的な参加
- ・重大事案発生時の緊急支援体制づくりに関わる分担や体制における役割の明確化
- ・学習障害(読み書き障がい)等にかかわる支援力向上のための関係機関との連携の推進(地域の特別支援学校の教育相談や通級指導教室との連携)
- ・各特別支援学校に設置の地域支援センター及び京都府スーパーサポートセンターと必要な連携を今後とも進めていく。
- ・家庭支援が必要で対応が難しいケースもあり、関係機関との連携強化を図る必要がある。機関同士の役割を明確化し効果的な連携のあり方を探るため、関係機関への訪問や意見交換の機会を積極的にもつようにした。
- ・必要に応じた情報提供等
- ・県内の相談機関との連携による教育相談に対応できる体制づくり
- ・相談支援における各機関の役割の明確化
- ・不登校等を担当する教育相談センターとの連携の強化
- ・他の相談機関との連携の強化、総合相談機関の整備・拡充

②相談担当者の専門性の向上(10)

- ・特別支援学校専門相談員の早期育成、小中高等学校のコーディネーター・担当者の資質向上
- ・センターにおける教育相談の件数が増加している状況を踏まえ、市町村教育委員会ができる内容(特別支援学級入級に係る検査等の実施)はできるだけ移行していきたいと考えている。その際の担当者の専門性向上が課題となっており、本センターにおいて担当者研修会や専門研修会等を開催して専門性向上に努めている。
- ・さまざまな事例に対応するために、臨床心理士等の専門的な知識を有する人員の配置に向けて検討をしている。
- ・専門相談員、指導主事等の専門性の向上のため、所内研修の充実を図る。
- ・教育相談担当者による教育相談担当者研修会の実施
- ・外部研修への参加による自己研鑽
- ・事例検討会において担当者が事例提供することで相談の在り方を具体的に検討する。
- ・教育相談についての専門性の向上
- ・カウンセリングゼミナール等の開催による継続的な研修
- ・教育相談に携わる、または、今後携わるであろう教諭に対して心理検査等の研修内容の充実が求められる。
- ・専門家を招聘した研修等を継続的に実施する。
- ・相談内容が多岐にわたり複雑化していることから、臨床心理の有識者によるスーパーバイズの定期的な実施や常勤の心理職の配置が必要である。

③理解啓発・情報発信の充実(1)

- ・当センターの相談事業を、各研修会や各会議など教育関係者が集まる場で周知していく。

④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築(15)

- ・北海道の広域性に対応した支援体制の充実
- ・「教育相談担当者養成集中講座」の実施及びテレビ会議システム等を活用した教育相談の実施
- ・関係機関同士の情報交換の機会を多数回設定する。
- ・地域ごとの相談システムを把握し、学齢期終了後も継続的な相談ができるように、つなぐシステムづくりが課題

- ・市町村主体の地区相談会、特別支援学校のセンター校における教育相談、教育事務所における教育相談、そして富山県総合教育センターとしての教育相談などそれぞれの役割を明確にした相談支援体制の整理が必要である。
- ・医療機関や福祉との連携が多くなっているが、誰がどこにつなぐのか、またそれぞれの役割が明確化されていない。今連携がとれている機関とのシステムを明文化し、他機関にもつなげていく。
- ・不登校を主訴とした相談の背景には、発達や家庭環境に課題を抱えるものが多いことから関係機関との情報の共有と連携を図りたい。
- ・市町村によっては、支援ネットワークをつくり地域における相談に対応しているところがあるので、他の地域にも支援ネットワークができる仕組みづくりを行っていききたい。
- ・昨年度課題としていたため、緊急時の連携体制を整えた。今後、それに従って対応する。
- ・平成30年度からスタートした長崎大学と連携した教育相談支援体制についての評価・改善
- ・就学相談や進路相談にかかわるシステムの見直しや周知のための方法を検討中
- ・教育相談内容の多様化に対応するための人材を校内で確保し、その専門性をより高めていくことが必要である。また、具体的な事例等について関係機関との十分な情報共有が必要である。
- ・大阪市では平成22年1月に児童相談所と教育相談を統合してこども相談センターを開設し、平成28年10月には南部こども相談センターを新たに開設した。この間、円滑な連携のシステムを構築しているが、各関係機関・部署との連携において、個人情報の共有方法や役割分担等についてよりよい形を検討している。
- ・特別支援学校や保健福祉局等の相談機関との役割分担を明確化する。
- ・定期的な連携会議を実施する。
- ・相談件数の増加・内容の多様化が進んでいる。各機関の機能を明確にし、切れ目のない相談体制を整える必要がある。
- ・児童発達支援事業所や放課後デイサービスなどの福祉関係の機関と連携した地域の支援ネットワークの構築

#### ⑤学校等との連携(11)

- ・課題：在籍校における円滑な支援、方策：保護者と学校関係者同席による情報共有
- ・総合教育センターでの多数の教育相談と並行して、教職員へのコンサルテーションや学校へ赴いての研修を実施するなど、連携を図るための時間確保や日程調整に課題がある。また、旅費の確保に課題がある。
- ・相談ケースの在籍する各校の特別支援教育コーディネーター等と連携できるよう、コーディネーター連絡会で、センターの取組を紹介したり、連携依頼を行ったりなど周知を図る。
- ・特別支援学校、小・中学校、高等学校等の特別支援教育Colに対して、当センターの研修講座等を通して、地域支援の充実と当センターとの連携、役割分担について理解と推進を図っている。
- ・来談者にかかわる、学校とのコンサルテーションや連携が必要だと考えられる場合、来談者の気持ちを尊重しながら継続した学校との連携ができるよう努める。
- ・学校における相談支援の充実と実効性の向上を図ること
- ・二次的な障がいとして不登校等になっている子どもたちの相談が増加傾向にあり、必要に応じて支援会議等へ参加し、助言を行っている。
- ・県や各地域の発達障がい者支援センターや療育センターとの連携のためのシステム作り
- ・係内で各事例に関するカンファを行う。必要に応じて、保護者や所属校担当者を交えたケース会議を実施し、情報を共有したり適切な支援方法等について検討したりする機会を設ける。
- ・特別支援学校のセンター的機能・巡回相談との当センター教育相談との役割分担の明確化
- ・経験の少ない教職員に対する専門研修や相談の実施

#### ⑥その他(2)

- ・就学にかかわる相談についての体制と連携の見直し
- ・教育相談の待ち時間の解消

### 4 教育相談担当者の資質向上の取組み

#### ①所内研修の実施(34)

- ・教育相談研修会の実施(保護者との面談、検査方法及び結果の解釈など)、事例検討会の実施(巡回教育相談の記録及び助言内容についての研修)
- ・医療機関と連携した相談ケースに関する支援内容検討の研修実施、相談担当者間での教育相談に関わる学習会(検討会)の実施
- ・研修会や事例検討会における嘱託医からの助言の継続実施
- ・相談業務についての研修会の実施や相談後の課題の整理
- ・年間を通じたケース検討(好事例の共有、困難事例の検討)関係機関との情報共有、研修会の実施(相談の進め方・大切にしたいことの確認、学校等との連携のあり方、児童生徒の自己理解を促す、障がい特性を踏まえた児童生徒理解 等)
- ・外部機関が主催する研修へ積極的に参加すると共に、所内で事例検討会を計画的に実施し、資質の向上に努める。
- ・医師、臨床心理士などを交えた事例検討会を実施している。
- ・臨床心理士等の専門職を交えた定期的な研修の実施(教育相談の在り方、事例検討 等)
- ・事例検討等の教育相談研修を、年間に10回所員向けに実施している。
- ・外部講師を招いての事例検討会の実施

- ・精神科医を招いて、年3回の事例検討会を実施、大学教授を招いて、年2回臨床心理に関わるスーパーバイズ研修を実施
- ・客員研究主事(心理職)から、部内での研修や日々の教育相談活動において適時指導助言を受ける。
- ・教育相談専門委員会等において、相談事例研究を通して外部専門家より指導及び小講義を受ける。
- ・客員教授(大学教授)の指導のもと、ケース会議や学習会を行い専門性の向上に努める。
- ・週1回、所内研修日を設け、教育相談・面談のやり方のスキルアップやLD支援の研修、思春期の生徒の教育相談など所員のニーズに応じた研修を実施している。
- ・教育相談研修会への職員派遣による専門性の向上及びセンター内での事例検討会・学習会を通じた支援力の向上
- ・定期的に事例検討会を行ったり、スーパーバイザーの助言を受けたりすることで、相談業務に携わる人材を育成していきたい。
- ・月1回の実例検討会の実施
- ・インテークしたすべての相談内容についてインテーク報告を行い、見立てや今後の方向性を全員で検討している。また、全員がケース発表をしたり、論文・参考図書まとめて報告したりすることで、担当者の資質向上を図っている。(H29年度:インテーク会議43回、班内研修会23回)
- ・専門性の高い外部講師を招聘して、研修を実施する。
- ・専門性向上のため、教育相談及び特別支援教育に係る所内研修会に参加したり、相談担当者でアセスメントや支援に係る情報共有を行ったりした。
- ・専門機関(大学、医療センター等)の講師を招いて、定期的に事例研究会を実施する。
- ・多様な視点から教育相談担当者研修の内容を考え研修を企画・実施する。・担当者が事例提供をし、事例検討会を行うことで、相談の方向性を協議する。
- ・セットアップ研修や部内研修、事例検討研修等、計画的で多様な研修機会を設けている。
- ・計画的なOJTによる資質向上の促進。OJTを意識した業務分担
- ・2か月に一度、電話・来所担当の相談員担当者が集まり、専門家から教育相談に関連するテーマの講話を聞いたり、情報交換をしたりしている。加えて、来所担当の相談員については、月に一度元大学教授によるスーパーバイズを受けている。
- ・大学の講師等による心理検査、アセスメントについての研修を行っている。
- ・心身に障害のある児童生徒及び保護者の相談事例に対して、適切な心理的援助等を行うことができるように、専門家からのアドバイスを受ける機会を設けたり、事例研究会を設定したりする。
- ・ケースカンファレンス(事前・事後)の実施、発達検査の検査法及び結果の解釈・分析等の研修の実施
- ・月1回大学教授(心理学)による事例研究やスーパーバイズを実施している。
- ・外部講師を依頼して、事例研究会を実施。
- ・定期的にミーティング・研修を行い共通理解を図り、判断基準に差が出ないように努めている。
- ・年度当初を中心に、定期的に研修会を設定している。
- ・センター的機能を主として担当する分掌・組織を設け、また、教育相談担当者の研修会を定期的に行うことにより、その専門性を高めるための取組を行っている。
- ・外部講師や指導主事による教育相談員への特別支援教育相談(学習面・行動面・対人関係に関する助言・支援)に関する研修の実施。外部講師やスーパーバイザーによる事例検討会を定期的に開催している。
- ・毎週1回の実例検討会の開催と定期的な教育相談研修の事例の集約と紹介
- ・大学教授等を講師に招いての研修会(年間4回)、精神科医を招いての研修会(年間1回)、精神科医が加わるケースカンファレンス(年間3回)、大学有識者等からのスーパービジョン(年間4時間×6回)

## ②外部研修への参加(5)

- ・相談担当者が各自でさまざまな研修会に参加し、研修で得た情報や資料を職場で他の相談担当者に発信している。
- ・研修等の機会は、センターとして具体的に計画できていないため、現在は個々の相談員の主体的研修のみとなっており、資質向上のための研修が必要であると思われるため。
- ・京都府では京都府教育支援委員会の委員として、当センターの研究主事兼指導主事が就学巡回教育相談に参加している。また、研修や会議等を通して相談に必要な資質の向上に努めている。

- ・相談員養成プログラムつへの積極的な参加と報告
- ・特別支援教育に関する研修会に相談担当者を積極的に参加させている。

## ③相談員同士の情報交換(11)

- ・教育相談課と協働による教育相談の実施
- ・相談案件の情報共有 WISC-IV検査結果の読み取り他研修会への参加
- ・特別支援学校専門相談員連絡協議会に参加し、情報交換・資質向上に取り組んでいる。
- ・まとまった時間を確保しにくい状況から、朝のミーティング時にその日の相談のねらい等を伝え合うようにした。他の所員から助言や質問に答えることで、当日の相談のねらいも明確化されるようになった。
- ・教育相談担当者内の教育相談等の方法・内容の共有
- ・二次的な障がいについては、不登校等を対象とした教育相談を行っている教育相談室から助言を受けたり、必要に応じて教育相談室の担当者と連携して相談したりするなどして対応している。

- ・共通理解、共通実践の推進
- ・部内での相談内容の報告・共有を行い、難しいケースでは部内で対応策・提案内容の検討を行う。
- ・担当者や臨床心理士によるコンサルテーションなどを通じた支援の充実
- ・最新の教育問題に関する情報共有
- ・相談部会及び指導主事研修でのケース検討
- ・相談しやすい環境づくり

#### ④関係機関との情報交換(5)

- ・教育機関以外の福祉や医療と連携を図り、一元的な相談となるよう資質の向上を図る。
- ・連携会議等への参加等を通して、情報交換を図っている。
- ・医療、福祉、労働等いろいろな分野の専門家と現在の喫緊の課題や最新の情報などを情報交換し、知見を広げる。
- ・沖縄県発達障害者等の外部機関との連携
- ・関係機関との情報交換を密にし、相談者に対し、的確な情報提供ができるようにする。

#### ⑤その他(1)

- ・月2回程度臨床心理士による事例検討会を開催し、担当者の専門性向上に努めるとともに、担当者同士のケース会議を必要に応じて実施している。

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とごつながりを大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 2	機関名 北海道立特別支援教育センター
---	-----------	-----------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	112 件	総回数	155 回
小学生	62 件	回数	86 回
高校生	6 件	回数	6 回

② 対象別内訳

中学生	17 件	回数	49 回
幼児・新学齢児	3 件	回数	3 回
中学生	15 件	回数	15 回
学習・指導法	78 件	回数	103 回
卒業・進路	5 件	回数	5 回
職業・家庭生活	1 件	回数	1 回
学校生活(個人相談等)	14 件	回数	23 回
その他	3 件	回数	7 回

③ 内容別内訳

知的障害	11 件	回数	13 回
聴覚障害	3 件	回数	3 回
言語障害	7 件	回数	9 回
発達障害	20 件	回数	24 回
重度・重覆	11 件	回数	24 回
自閉症・情緒障害	46 件	回数	51 回
聴覚障害	9 件	回数	23 回
聴覚障害	2 件	回数	2 回
肢体不自由	2 件	回数	4 回
精神・身体発達	2 件	回数	4 回

④ 障害別内訳

小学生	38 件	回数	46 回
高校生	6 件	回数	6 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	23 件	回数	56 回
高校生	4 件	回数	6 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	508 回	関係教員	73 回	本人	9 回	その他	36 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

② 電話相談の内訳別内訳

学習・指導法	116 回	卒業・進路	68 回	職業・家庭生活	145 回	情報提供	82 回
卒業・進路	27 回	その他	133 回	その他			
不登校・いじめ	16 回	その他	133 回	その他			

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 課題

- ① 発達障害者支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 教育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高等学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

(2) 連携内容

- ① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )  
⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

(3) 成果

- ① 関係機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な観点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもへの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( )

(4) 課題

- ① 関連機関との連携 ② 検計・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係機関の専門性  
⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題

- ① 北海道の広域性に対応した支援体制の充実  
② 北海道の広域性に対応した支援体制の充実  
③ 教育相談担当者会議(支援センター)等を活用した教育相談の実施

(1) 課題

- ① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 取組

- ① 教育相談研修の実施(保護者との面談、検査方法及び結果の解釈など)  
② 事例検討会の実施(巡回教育相談の記録及び助言内容についての研修)  
③ 外部研修への参加 ④ 相談員同士の情報交換 ⑤ 関係機関との情報交換 ⑥ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とごつながりを大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 3	機関名 青森県総合学校教育センター
---	-----------	----------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	64 件	総回数	134 回
小学生	26 件	回数	59 回
高校生	5 件	回数	7 回

② 対象別内訳

中学生	17 件	回数	49 回
幼児・新学齢児	3 件	回数	3 回
中学生	15 件	回数	15 回
学習・指導法	78 件	回数	103 回
卒業・進路	5 件	回数	5 回
職業・家庭生活	1 件	回数	1 回
学校生活(個人相談等)	14 件	回数	23 回
その他	3 件	回数	7 回

③ 内容別内訳

知的障害	2 件	回数	3 回
聴覚障害	0 件	回数	0 回
言語障害	0 件	回数	0 回
発達障害	18 件	回数	49 回
重度・重覆	0 件	回数	0 回
自閉症・情緒障害	4 件	回数	7 回
聴覚障害	0 件	回数	0 回
聴覚障害	0 件	回数	0 回
肢体不自由	0 件	回数	0 回
精神・身体発達	0 件	回数	0 回

④ 障害別内訳

小学生	23 件	回数	56 回
高校生	4 件	回数	6 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	23 件	回数	56 回
高校生	4 件	回数	6 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	53 回	関係教員	19 回	本人	0 回	その他	43 回
-----	------	------	------	----	-----	-----	------

② 電話相談の内訳別内訳

学習・指導法	116 回	卒業・進路	68 回	職業・家庭生活	145 回	情報提供	82 回
卒業・進路	27 回	その他	133 回	その他			
不登校・いじめ	16 回	その他	133 回	その他			

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 課題

- ① 発達障害者支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 教育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高等学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

(2) 連携内容

- ① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )  
⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

(3) 成果

- ① 関係機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な観点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもへの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( )

(4) 課題

- ① 関連機関との連携 ② 検計・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係機関の専門性  
⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題

- ① 北海道の広域性に対応した支援体制の充実  
② 北海道の広域性に対応した支援体制の充実  
③ 教育相談担当者会議(支援センター)等を活用した教育相談の実施

(1) 課題

- ① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 取組

- ① 教育相談研修の実施(保護者との面談、検査方法及び結果の解釈など)  
② 事例検討会の実施(巡回教育相談の記録及び助言内容についての研修)  
③ 外部研修への参加 ④ 相談員同士の情報交換 ⑤ 関係機関との情報交換 ⑥ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多  
 様なニーズに応える相談支援体制の在り方

機関番号 4  
 機関名 若手単立総合教育センター

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数	総件数 132 件	総回数 483 回
② 対象別内訳	小学生 1 件	2 回
中学生 41 件	152 回	
③ 内容別内訳	就学・進学 0 件	11 回
卒業・進路 2 件	0 回	
学校生活(対人関係等) 52 件	196 回	
その他 5 件	21 回	
④ 障害別内訳	知的障害 1 件	2 回
言語障害 1 件	1 回	
視覚障害 0 件	0 回	
発達障害 18 件	74 回	
重度・重複 0 件	0 回	
⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒	小学生 45 件	149 回
中学生 7 件	18 回	

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の件数別内訳	保護者 679 回	関係職員 500 回	本人 79 回	その他 73 回
② 電話相談の内容別内訳	就学・進学 0 回	学習・指導法 315 回	学校生活(対人関係等) 517 回	
卒業・進路 18 回	養育・家庭生活 82 回	情報提供 0 回		
不登校・いじめ 31 回	その他 200 回			

2 教育相談において連携している主な機関を(1)から9つ選択し、その連携内容・成果・課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄よりトップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	(4) 課題
①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

- (1) 機関名  
 ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )
- (2) 連携内容  
 ①情報交換・情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
 ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )
- (3) 成果  
 ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所員、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもへの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )
- (4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策 ① 各関係機関の専門性を生かした連携の充実を図りながら、教育センター(教育的支援)としての機能を発揮する。

① 課題・方策	関係機関同士の情報交換の機会を多数設定する。
② 課題・方策	具体的内容

- (1) 課題・方策  
 ①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組 ① 医療機関と連携した相談ケースに関する支援内容研修実施・相談担当者間での教育相談に関する学習会(検討会)の実施

① 取組	具体的内容
------	-------

- (1) 取組  
 ①市内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多  
 様なニーズに応える相談支援体制の在り方

機関番号 5  
 機関名 宮城県総合教育センター

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数	総件数 299 件	総回数 415 回
② 対象別内訳	小学生 203 件	277 回
中学生 66 件	10 件	19 回
③ 内容別内訳	就学・進学 124 回	702 回
卒業・進路 99 回	339 回	
学校生活(対人関係等) 461 回	153 回	
その他 695 回		
④ 障害別内訳	知的障害 58 件	93 回
言語障害 1 件	1 回	
視覚障害 0 件	0 回	
発達障害 88 件	247 回	
重度・重複 0 件	0 回	
⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒	小学生 173 件	231 回
中学生 10 件	19 回	

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の件数別内訳	保護者 695 回	関係職員 447 回	本人 25 回	その他 11 回
② 電話相談の内容別内訳	就学・進学 26 回	学習・指導法 183 回	学校生活(対人関係等) 106 回	
卒業・進路 29 回	養育・家庭生活 58 回	情報提供 6 回		
不登校・いじめ 81 回	その他 29 回			

2 教育相談において連携している主な機関を(1)から9つ選択し、その連携内容・成果・課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄よりトップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	(4) 課題
①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

- (1) 機関名  
 ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )
- (2) 連携内容  
 ①情報交換・情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
 ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )
- (3) 成果  
 ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所員、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもへの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )
- (4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策 ① 各関係機関の専門性を生かした連携の充実を図りながら、教育センター(教育的支援)としての機能

① 課題・方策	関係機関同士の情報交換の機会を多数設定する。
② 課題・方策	具体的内容

- (1) 課題・方策  
 ①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組 ① 医療機関以外の福祉や医療と連携を図り、一元的な相談となるよう資質の向上を図る。

① 取組	具体的内容
------	-------

- (1) 取組  
 ①市内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのかかわりを大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 6	機関名 秋田県総合教育センター
---	-----------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 ① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	39 件	総回数	111 回
② 対象別内訳			
幼児・新学齢児童	1 件	1 回	
中学生	15 件	51 回	

③ 内容別内訳

就学・進学	3 件	4 回	19 回
卒業・進路	1 件	1 回	1 回
学校生活(個人相談等)	13 件	20 回	66 回
その他	0 件	0 回	

④ 障害別内訳

知的障害	1 件	1 回	9 回
言語障害	0 件	0 回	0 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回
聴覚障害	7 件	36 回	0 回
発達障害	0 件	0 回	0 回
重度・重覆	0 件	0 回	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	10 件	25 回
高校生	11 件	32 回
中学生	18 件	43 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

- ① 電話相談の対象別内訳

保護者	72 回	関係教員	0 回	本人	35 回	その他	5 回
-----	------	------	-----	----	------	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	5 回	学習・指導法	3 回	学校生活(個人相談等)	3 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	15 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	52 回	その他	24 回		

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

- (1) 機関名

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(2) 連携内容

- ① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
 ⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1( )  
 ⑫ その他2( ) ⑬ その他3( )

(3) 成果

- ① 他機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な視点からの相談  
 ④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
 ⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
 ⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1( ) ⑬ その他2( )

(4) 課題

- ① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
 ④ 個人情報保護を踏まえた情報共有や連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
 ⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
 ⑪ その他1( ) ⑫ その他2( ) ⑬ その他3( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	① 所管の県市町村教育委員会や学校が同席した教育相談の実施
-------	-------------------------------

- (1) 課題・方策  
 ① 他機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
 ④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	① 研修会や事例検討会における嘱託医からの助言の継続実施
----	------------------------------

- (1) 取組  
 ① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのかかわりを大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 7	機関名 山形県教育センター
---	-----------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 ① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	0 件	総回数	0 回
② 対象別内訳			
幼児・新学齢児童	0 件	0 回	
中学生	0 件	0 回	

③ 内容別内訳

就学・進学	0 件	0 回	0 回
卒業・進路	0 件	0 回	0 回
学校生活(個人相談等)	0 件	0 回	0 回
その他	0 件	0 回	0 回

④ 障害別内訳

知的障害	0 件	0 回	0 回
言語障害	0 件	0 回	0 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回
聴覚障害	0 件	0 回	0 回
発達障害	0 件	0 回	0 回
重度・重覆	0 件	0 回	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	0 件	0 回
高校生	0 件	0 回
中学生	0 件	0 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

- ① 電話相談の対象別内訳

保護者	79 回	関係教員	11 回	本人	2 回	その他	4 回
-----	------	------	------	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	15 回	学習・指導法	1 回	学校生活(個人相談等)	2 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	35 回	情報提供	35 回
不登校・いじめ	1 回	その他	7 回		

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

- (1) 機関名

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(2) 連携内容

- ① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
 ⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1( )  
 ⑫ その他2( ) ⑬ その他3( )

(3) 成果

- ① 他機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な視点からの相談  
 ④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
 ⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
 ⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1( ) ⑬ その他2( )

(4) 課題

- ① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
 ④ 個人情報保護を踏まえた情報共有や連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
 ⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
 ⑪ その他1( ) ⑫ その他2( ) ⑬ その他3( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	① 就学にかかわる相談についての体制と連携の見直し
-------	---------------------------

- (1) 課題・方策  
 ① 他機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
 ④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	① 研修会や事例検討会における嘱託医からの助言の継続実施
----	------------------------------

- (1) 取組  
 ① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域とご対応のつなごうを大切にしたい多  
 様なニーズに応える相談支援体制の在り方

機関番号 8  
 機関名 福島県特別支援教育センター

総件数 123 件  
 総回数 365 回

※機関番号、機関名は、本アンケートの方角第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

② 対象別内訳

小学生	11 件	23 回
中学生	28 件	87 回

③ 内容別内訳

就学・進学	14 件	28 回
卒業・進路	5 件	8 回
学校生活(個人相談)	55 件	156 回
その他	4 件	8 回

④ 障害別内訳

知的障害	18 件	34 回
言語障害	1 件	4 回
視覚障害	2 件	4 回
聴覚障害	57 件	198 回
重度・重覆	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	69 件	167 回
高校生	18 件	73 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	51 回	関係教員	19 回	本人	2 回	その他	12 回
-----	------	------	------	----	-----	-----	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	5 回	学習・指導法	8 回	学校生活(個人相談)	37 回
卒業・進路	5 回	養育・家庭生活	9 回	情報提供	11 回
不登校・いじめ	4 回	その他	3 回		

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を、選定の連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④

(1) 機関名  
 ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他(「教育事務所」) ⑬その他( )

(2) 連携内容  
 ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他( )  
 ⑫その他( ) ⑬その他( )

(3) 成果  
 ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他( ) ⑬その他( )

(4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他( ) ⑫その他( ) ⑬その他( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題・方策

② 本センターは、同じ建物に療育センター、発達障がい者支援センターが併設されており、連携した相談支援を行っている。今後、さらにそれぞれの役割を踏まえた効果的な連携を強めたい。

(1) 課題・方策

①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 取組

①年間を通じたケース検討(好事例)の共有、困難事例の検討(関係機関との情報共有)  
 ・研修の実施(相談の進め方・大切にしたいことの確認、学校等との連携のあり方、児童生徒の自己理解を促す、障がい特性を踏まえた児童生徒理解等)

(1) 取組

①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域とご対応のつなごうを大切にしたい多  
 様なニーズに応える相談支援体制の在り方

機関番号 9  
 機関名 茨城県教育研修センター

総件数 150 件  
 総回数 514 回

※機関番号、機関名は、本アンケートの方角第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成9年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

小学生	5 件	19 回
中学生	25 件	54 回

② 対象別内訳

就学・進学	2 件	5 回
卒業・進路	3 件	10 回
学校生活(個人相談)	60 件	150 回
その他	15 件	20 回

③ 障害別内訳

知的障害	20 件	55 回
言語障害	5 件	10 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	110 件	383 回
重度・重覆	0 件	0 回

④ 障害別内訳

小学生	102 件	384 回
高校生	8 件	10 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	831 回	関係教員	149 回	本人	10 回	その他	22 回
-----	-------	------	-------	----	------	-----	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	10 回	学習・指導法	320 回	学校生活(個人相談)	225 回
卒業・進路	6 回	養育・家庭生活	110 回	情報提供	8 回
不登校・いじめ	30 回	その他	3 回		

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を、選定の連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④

(1) 機関名  
 ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他(「教育事務所」) ⑬その他( )

(2) 連携内容  
 ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他( )  
 ⑫その他( ) ⑬その他( )

(3) 成果  
 ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他( ) ⑬その他( )

(4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他( ) ⑫その他( ) ⑬その他( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題・方策

①具体的な内容  
 医療機関 臨床心理士、言語聴覚士等との連携

(1) 課題・方策

①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 取組

①具体的な内容  
 関係機関との情報共有  
 WISC-IV検査結果の読み取り  
 他の研修会への参加

(1) 取組

①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 10	機関名 栃木県総合教育センター
---	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの回答2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

幼児・新学齢児	11 件	76 回	0 回	0 回
小学生	0 件	0 回	0 回	0 回
中学生	0 件	0 回	0 回	0 回
合計	11 件	76 回	0 回	0 回

② 対象別内訳

就学・進学	0 件	0 回	0 回	0 回
卒業・進路	0 件	0 回	0 回	0 回
学校生活(個人相談等)	6 件	12 回	0 回	0 回
その他	1 件	1 回	0 回	0 回

③ 内容別内訳

知的障害	0 件	0 回	0 回	0 回
言語障害	7 件	56 回	0 回	0 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回	0 回
聴覚障害	7 件	14 回	0 回	0 回
発達障害	0 件	0 回	0 回	0 回
重症・重覆	0 件	0 回	0 回	0 回

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	0 件	0 回	0 回	0 回
聴覚障害	7 件	56 回	0 回	0 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回	0 回
聴覚障害	7 件	14 回	0 回	0 回
発達障害	0 件	0 回	0 回	0 回
重症・重覆	0 件	0 回	0 回	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	3 件	3 回	0 回	0 回
中学生	2 件	3 回	0 回	0 回
高校生	0 件	0 回	0 回	0 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	0 回	0 回	0 回	0 回
本人	0 回	0 回	0 回	0 回
その他	0 回	0 回	0 回	0 回

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	0 回	0 回	0 回
卒業・進路	0 回	0 回	0 回	0 回
学校生活(個人相談等)	0 回	0 回	0 回	0 回
不登校・いじめ	0 回	0 回	0 回	0 回
その他	0 回	0 回	0 回	0 回

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 関係機関

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 特別支援学校

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) 大学・大学附属機関

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(8) 保健所・保健センター

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(9) ハローワーク

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(10) その他

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 11	機関名 群馬県総合教育センター
---	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの回答2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

幼児・新学齢児	30 件	162 回	10 回	72 回
小学生	10 件	72 回	0 回	0 回
中学生	0 件	0 回	0 回	0 回
合計	40 件	234 回	10 回	72 回

② 対象別内訳

就学・進学	1 件	1 回	1 回	25 回
卒業・進路	2 件	2 回	2 回	6 回
学校生活(個人相談等)	72 件	432 回	0 件	0 回
その他	1 件	5 回	0 件	0 回

③ 内容別内訳

知的障害	18 件	76 回	0 回	159 回
言語障害	12 件	62 回	0 回	0 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回	0 回
聴覚障害	26 件	171 回	1 回	1 回
発達障害	1 件	2 回	0 件	0 回
重症・重覆	0 件	0 回	0 件	0 回

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	28 件	159 回	0 件	0 回
聴覚障害	0 件	0 回	1 件	1 回
視覚障害	0 件	0 回	0 件	0 回
聴覚障害	26 件	171 回	0 件	0 回
発達障害	1 件	2 回	0 件	0 回
重症・重覆	0 件	0 回	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	14 件	114 回	3 件	12 回
中学生	3 件	12 回	0 件	0 回
高校生	0 件	0 回	0 件	0 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	137 回	関係教員	7 回	本人	3 回	その他	4 回
-----	-------	------	-----	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	7 回	学習・指導法	5 回	学校生活(個人相談等)	99 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	16 回	情報提供	17 回
学校生活(個人相談等)	0 回	その他	7 回		
不登校・いじめ	0 回				
その他	0 回				

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 関係機関

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 特別支援学校

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) 大学・大学附属機関

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(8) 保健所・保健センター

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(9) ハローワーク

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(10) その他

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果・課題を(2)~(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 連携内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 関係機関

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 特別支援学校

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) 大学・大学附属機関

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(8) 保健所・保健センター

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(9) ハローワーク

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(10) その他

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題	方策
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤
⑥	⑥
⑦	⑦
⑧	⑧
⑨	⑨
⑩	⑩

(1) 課題

(2) 方策

(3) 関係機関との連携の機会を捉え、対象となる幼児児童生徒の支援の方向性について十分検討できるような方策

(4) 関係機関との連携の推進・強化

(5) 関係機関との連携の推進

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方  
 障がなニーズに応える相対支援体制の在り方

機関番号 12  
 機関名 埼玉県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、本アンケートの入り方が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

② 対象別内訳

小学生	0 件	0 回
中学生	9 件	69 回
幼児・新学齢児	0 件	0 回
中学生	9 件	69 回
合計	9 件	69 回

③ 内容別内訳

就学・進学	0 件	0 回
卒業・進路	0 件	0 回
学習・指導法	0 件	0 回
養育・家庭生活	0 件	0 回
いじめ・不登校	0 件	0 回
その他	0 件	0 回

④ 障害別内訳

知的障害	1 件	12 回
言語障害	0 件	0 回
発達障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	21 件	142 回
重度・重覆	0 件	0 回
その他	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	5 件	39 回
中学生	7 件	40 回
合計	12 件	79 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	回	関係教員	回	本人	回	その他	回
-----	---	------	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	回	学習・指導法	回	学校生活(個人相談等)	回
卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	回		回

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦

(5) 機関名

① 発達障害支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む) ③ 療育センター

④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校

⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク

⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

(6) 連携内容

① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討

⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )

⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

(7) 成果

① 関係間との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な観点からの相談

④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能

⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上

⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( )

⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

(8) 課題

① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整

④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応

⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性

⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題

② 課題に在り方

③ 課題に在り方

④ 課題に在り方

⑤ 課題に在り方

⑥ 課題に在り方

⑦ 課題に在り方

⑧ 課題に在り方

⑨ 課題に在り方

⑩ 課題に在り方

⑪ 課題に在り方

⑫ 課題に在り方

⑬ 課題に在り方

⑭ 課題に在り方

⑮ 課題に在り方

⑯ 課題に在り方

⑰ 課題に在り方

⑱ 課題に在り方

⑲ 課題に在り方

⑳ 課題に在り方

㉑ 課題に在り方

㉒ 課題に在り方

㉓ 課題に在り方

㉔ 課題に在り方

㉕ 課題に在り方

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方  
 障がなニーズに応える相対支援体制の在り方

機関番号 13  
 機関名 千葉県総合教育センター

※機関番号、機関名は、本アンケートの入り方が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

② 対象別内訳

小学生	1 件	1 回
中学生	31 件	31 回
幼児・新学齢児	0 件	0 回
中学生	31 件	31 回
合計	32 件	32 回

③ 内容別内訳

就学・進学	10 件	10 回
卒業・進路	0 件	0 回
学習・指導法	0 件	0 回
養育・家庭生活	22 件	22 回
いじめ・不登校	0 件	0 回
その他	0 件	0 回

④ 障害別内訳

知的障害	11 件	11 回
言語障害	0 件	0 回
発達障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	94 件	94 回
重度・重覆	0 件	0 回
その他	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	47 件	47 回
中学生	12 件	12 回
合計	59 件	59 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	回	関係教員	回	本人	回	その他	回
-----	---	------	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	49 回	学習・指導法	76 回	学校生活(個人相談等)	236 回
卒業・進路	回	養育・家庭生活	183 回	情報提供	39 回
不登校・いじめ	回	その他	81 回		回

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦

(5) 機関名

① 発達障害支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む) ③ 療育センター

④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校

⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク

⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

(6) 連携内容

① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討

⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )

⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

(7) 成果

① 関係間との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な観点からの相談

④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能

⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上

⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( )

⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

(8) 課題

① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整

④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応

⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性

⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題

② 課題に在り方

③ 課題に在り方

④ 課題に在り方

⑤ 課題に在り方

⑥ 課題に在り方

⑦ 課題に在り方

⑧ 課題に在り方

⑨ 課題に在り方

⑩ 課題に在り方

⑪ 課題に在り方

⑫ 課題に在り方

⑬ 課題に在り方

⑭ 課題に在り方

⑮ 課題に在り方

⑯ 課題に在り方

⑰ 課題に在り方

⑱ 課題に在り方

⑲ 課題に在り方

⑳ 課題に在り方

㉑ 課題に在り方

㉒ 課題に在り方

㉓ 課題に在り方

㉔ 課題に在り方

㉕ 課題に在り方

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方  
 障がなニーズに応える相対支援体制の在り方

機関番号 12  
 機関名 埼玉県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、本アンケートの入り方が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

② 対象別内訳

小学生	5 件	39 回
中学生	8 件	46 回
幼児・新学齢児	0 件	0 回
中学生	8 件	46 回
合計	13 件	85 回

③ 内容別内訳

就学・進学	0 件	0 回
卒業・進路	0 件	0 回
学習・指導法	0 件	0 回
養育・家庭生活	0 件	0 回
いじめ・不登校	0 件	0 回
その他	0 件	0 回

④ 障害別内訳

知的障害	0 件	0 回
言語障害	0 件	0 回
発達障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	21 件	142 回
重度・重覆	0 件	0 回
その他	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	5 件	39 回
中学生	7 件	43 回
合計	12 件	82 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	回	関係教員	回	本人	回	その他	回
-----	---	------	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	回	学習・指導法	回	学校生活(個人相談等)	回
卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	回		回

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦

(5) 機関名

① 発達障害支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む) ③ 療育センター

④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校

⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク

⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

</

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方  
 様々なニーズに応える相対支援体制の在り方

機関番号 14  
 機関名 東京都教職員研修センター

※機関番号、機関名は、本アンケートの方針第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	件	回
-----	---	---

(2) 対象別内訳

幼児・新学齢児	件	回
中学生	件	回

(3) 内容別内訳

就学・進学	件	回
卒業・進路	件	回
学校生活(個人相談)	件	回
その他	件	回

(4) 障害別内訳（障害種別の集計をしていません）

知的障害	件	回
言語障害	件	回
視覚障害	件	回
聴覚障害	件	回
発達障害	件	回
重度・重覆	件	回

(5) 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	回
中学生	件	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	回	関係教員	回	本人	回	その他	回
-----	---	------	---	----	---	-----	---

(2) 電話相談の対象別内訳

電話相談の内訳別内訳	回	学習・指導法	回	学校生活(個人相談)	回
卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	回		回

(2) 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題

(1) 機関名

- ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③教育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他1) ⑬その他2) ⑭その他3)

(2) 連携内容

- ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1)  
 ⑫その他2) ⑬その他3)

(3) 成果

- ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1)  
 ⑬その他2) ⑭その他3)

(4) 課題

- ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他1) ⑫その他2) ⑬その他3)

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の在り方を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	関係機関が集まる会議等への積極的な参加
-------	---------------------

- (1) 課題・方策

- ①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	外部講師を招いての事例検討会の実施
----	-------------------

- (1) 取組

- ①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方  
 様々なニーズに応える相対支援体制の在り方

機関番号 15  
 機関名 神奈川県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、本アンケートの方針第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	574 件	総回数	5497 回
-----	-------	-----	--------

(2) 対象別内訳

幼児・新学齢児	1 件	2 回
中学生	139 件	1541 回

(3) 内容別内訳

就学・進学	0 件	0 回
卒業・進路	24 件	127 回
学校生活(個人相談)	144 件	1975 回
その他	11 件	34 回

(4) 障害別内訳（障害種別の集計をしていません）

知的障害	件	回
言語障害	件	回
視覚障害	件	回
聴覚障害	件	回
発達障害	件	回
重度・重覆	件	回

(5) 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	回
中学生	件	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	4166 回	関係教員	603 回	本人	1024 回	その他	225 回
-----	--------	------	-------	----	--------	-----	-------

(2) 電話相談の対象別内訳

電話相談の内訳別内訳	回	学習・指導法	286 回	学校生活(個人相談)	1274 回
卒業・進路	269 回	養育・家庭生活	894 回	情報提供	1275 回
不登校・いじめ	1416 回	その他	580 回		

(2) 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題

(1) 機関名

- ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③教育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他1) ⑬その他2) ⑭その他3)

(2) 連携内容

- ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1)  
 ⑫その他2) ⑬その他3)

(3) 成果

- ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1)  
 ⑬その他2) ⑭その他3)

(4) 課題

- ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他1) ⑫その他2) ⑬その他3)

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の在り方を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	関係機関が集まる会議等への積極的な参加
-------	---------------------

- (1) 課題・方策

- ①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	外部講師を招いての事例検討会の実施
----	-------------------

- (1) 取組

- ①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域との連携についてのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 16	機関名 新潟県立教育センター
--	------------	-------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	13 件	総回数	17 回
-----	------	-----	------

(2) 対象別内訳

幼児・新学齢児	3 件	3 回
中学生	0 件	0 回
内訳別内訳		
就学・進学	1 件	2 回
卒業・進路	1 件	1 回
学校生活(個人相談)	2 件	2 回
その他	4 件	7 回

(3) 障害別内訳

知的障害	0 件	0 回
言語障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	3 件	4 回
重度・重傷	0 件	0 回

(4) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	9 件	12 回
高校生	0 件	0 回

(5) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	16 回	関係教員	28 回	本人	1 回	その他	2 回
-----	------	------	------	----	-----	-----	-----

(6) 電話相談の対像別内訳

保護者	5 回	学習・指導法	12 回	学校生活(個人相談)	6 回
卒業・進路	4 回	養育・家庭生活	2 回	情報提供	8 回
不登校・いじめ	3 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回

(7) 電話相談の内訳別内訳

卒業・進路	4 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回
不登校・いじめ	3 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回

(8) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	9 件	12 回
高校生	0 件	0 回

(9) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	487 回	関係教員	250 回	本人	9 回	その他	59 回
-----	-------	------	-------	----	-----	-----	------

(10) 電話相談の対像別内訳

保護者	28 回	学習・指導法	167 回	学校生活(個人相談)	24 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	69 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	132 回	養育・家庭生活	167 回	その他	0 回

(11) 電話相談の内訳別内訳

卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	69 回	その他	0 回
不登校・いじめ	132 回	養育・家庭生活	167 回	その他	0 回

(12) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	77 件	60 回
高校生	7 件	6 回

(13) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	487 回	関係教員	250 回	本人	9 回	その他	59 回
-----	-------	------	-------	----	-----	-----	------

(14) 電話相談の対像別内訳

保護者	28 回	学習・指導法	167 回	学校生活(個人相談)	24 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	69 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	132 回	養育・家庭生活	167 回	その他	0 回

(15) 電話相談の内訳別内訳

卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	69 回	その他	0 回
不登校・いじめ	132 回	養育・家庭生活	167 回	その他	0 回

(16) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	77 件	60 回
高校生	7 件	6 回

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域との連携についてのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 17	機関名 富山県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	155 件	総回数	1170 回
-----	-------	-----	--------

(2) 対象別内訳

幼児・新学齢児	10 件	41 回
中学生	38 件	294 回
内訳別内訳		
就学・進学	9 件	31 回
卒業・進路	0 件	0 回
学校生活(個人相談)	55 件	355 回
その他	19 件	83 回

(3) 障害別内訳

知的障害	7 件	55 回
言語障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	21 件	224 回
重度・重傷	0 件	0 回

(4) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	77 件	60 回
高校生	7 件	6 回

(5) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	487 回	関係教員	250 回	本人	9 回	その他	59 回
-----	-------	------	-------	----	-----	-----	------

(6) 電話相談の対像別内訳

保護者	28 回	学習・指導法	167 回	学校生活(個人相談)	24 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	69 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	132 回	養育・家庭生活	167 回	その他	0 回

(7) 電話相談の内訳別内訳

卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	69 回	その他	0 回
不登校・いじめ	132 回	養育・家庭生活	167 回	その他	0 回

(8) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	77 件	60 回
高校生	7 件	6 回

(9) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	487 回	関係教員	250 回	本人	9 回	その他	59 回
-----	-------	------	-------	----	-----	-----	------

(10) 電話相談の対像別内訳

保護者	28 回	学習・指導法	167 回	学校生活(個人相談)	24 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	69 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	132 回	養育・家庭生活	167 回	その他	0 回

(11) 電話相談の内訳別内訳

卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	69 回	その他	0 回
不登校・いじめ	132 回	養育・家庭生活	167 回	その他	0 回

(12) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	77 件	60 回
高校生	7 件	6 回

(13) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	487 回	関係教員	250 回	本人	9 回	その他	59 回
-----	-------	------	-------	----	-----	-----	------

(14) 電話相談の対像別内訳

保護者	28 回	学習・指導法	167 回	学校生活(個人相談)	24 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	69 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	132 回	養育・家庭生活	167 回	その他	0 回

(15) 電話相談の内訳別内訳

卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	69 回	その他	0 回
不登校・いじめ	132 回	養育・家庭生活	167 回	その他	0 回

(16) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	77 件	60 回
高校生	7 件	6 回

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域との連携についてのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 16	機関名 新潟県立教育センター
--	------------	-------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	13 件	総回数	17 回
-----	------	-----	------

(2) 対象別内訳

幼児・新学齢児	3 件	3 回
中学生	0 件	0 回
内訳別内訳		
就学・進学	1 件	2 回
卒業・進路	1 件	1 回
学校生活(個人相談)	2 件	2 回
その他	4 件	7 回

(3) 障害別内訳

知的障害	0 件	0 回
言語障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	3 件	4 回
重度・重傷	0 件	0 回

(4) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	9 件	12 回
高校生	3 件	3 回

(5) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	16 回	関係教員	28 回	本人	1 回	その他	2 回
-----	------	------	------	----	-----	-----	-----

(6) 電話相談の対像別内訳

保護者	5 回	学習・指導法	12 回	学校生活(個人相談)	6 回
卒業・進路	4 回	養育・家庭生活	2 回	情報提供	8 回
不登校・いじめ	3 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回

(7) 電話相談の内訳別内訳

卒業・進路	4 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回
不登校・いじめ	3 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回

(8) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	9 件	12 回
高校生	3 件	3 回

(9) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	16 回	関係教員	28 回	本人	1 回	その他	2 回
-----	------	------	------	----	-----	-----	-----

(10) 電話相談の対像別内訳

保護者	5 回	学習・指導法	12 回	学校生活(個人相談)	6 回
卒業・進路	4 回	養育・家庭生活	2 回	情報提供	8 回
不登校・いじめ	3 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回

(11) 電話相談の内訳別内訳

卒業・進路	4 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回
不登校・いじめ	3 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回

(12) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	9 件	12 回
高校生	3 件	3 回

(13) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	16 回	関係教員	28 回	本人	1 回	その他	2 回
-----	------	------	------	----	-----	-----	-----

(14) 電話相談の対像別内訳

保護者	5 回	学習・指導法	12 回	学校生活(個人相談)	6 回
卒業・進路	4 回	養育・家庭生活	2 回	情報提供	8 回
不登校・いじめ	3 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回

(15) 電話相談の内訳別内訳

卒業・進路	4 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回
不登校・いじめ	3 回	養育・家庭生活	7 回	その他	0 回

(16) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	9 件	12 回
高校生	3 件	3 回

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域との連携についてのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 17	機関名 富山県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	155 件	総回数	1170 回
-----	-------	-----	--------

(2) 対象別内訳

幼児・新学齢児	10 件	41 回
中学生	38 件	294 回
内訳別内訳		
就学・進学	9 件	31 回
卒業・進路	0 件	0 回
学校生活(個人相談)	55 件	355 回
その他	19 件	83 回

(3) 障害別内訳

知的障害	7 件	55 回
言語障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	21 件	224 回
重度・重傷	0 件	0 回

(4) 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	77 件	60 回
高校生	7 件	6 回

(5) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	487 回	関係教員	250 回	本人	9 回	その他	59 回
-----	-------	------	-------	----	-----	-----	------

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会	機関番号	機関名
教育相談に関する事項	18	石川県教員総合研修センター
関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方		
様々なニーズに応える相対支援体制の在り方		

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	2	件	総回数	4	回
幼児・新学齢児	1	件	中学生	1	回
小学生	1	件	高校生	3	回
中学生	1	件	その他	1	回

- (2) 対象別内訳
- |       |   |   |   |   |
|-------|---|---|---|---|
| 知的障害  | 1 | 件 | 1 | 回 |
| 言語障害  | 1 | 件 | 1 | 回 |
| 視覚障害  | 1 | 件 | 3 | 回 |
| 聴覚障害  | 1 | 件 | 3 | 回 |
| 発達障害  | 1 | 件 | 1 | 回 |
| 重度・重覆 | 1 | 件 | 1 | 回 |
| その他   | 1 | 件 | 1 | 回 |

- (3) 内容別内訳
- |         |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|
| 学習・指導法  | 1 | 件 | 3 | 回 |
| 養育・家庭生活 | 1 | 件 | 3 | 回 |
| いじめ・不登校 | 1 | 件 | 1 | 回 |
| その他     | 1 | 件 | 1 | 回 |

- (4) 障害別内訳
- |       |   |   |   |   |
|-------|---|---|---|---|
| 知的障害  | 1 | 件 | 1 | 回 |
| 言語障害  | 1 | 件 | 1 | 回 |
| 視覚障害  | 1 | 件 | 3 | 回 |
| 聴覚障害  | 1 | 件 | 3 | 回 |
| 発達障害  | 1 | 件 | 1 | 回 |
| 重度・重覆 | 1 | 件 | 1 | 回 |
| その他   | 1 | 件 | 1 | 回 |

- (5) 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒
- |     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|
| 小学生 | 2 | 件 | 4 | 回 |
| 中学生 | 0 | 件 | 0 | 回 |
| 高校生 | 0 | 件 | 0 | 回 |

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

- (1) 電話相談の対象別内訳
- |     |    |   |      |   |   |    |   |   |     |   |   |
|-----|----|---|------|---|---|----|---|---|-----|---|---|
| 保護者 | 16 | 回 | 関係教員 | 1 | 回 | 本人 | 6 | 回 | その他 | 4 | 回 |
|-----|----|---|------|---|---|----|---|---|-----|---|---|

- (2) 電話相談の内容別内訳
- |         |   |         |         |   |      |      |   |
|---------|---|---------|---------|---|------|------|---|
| 学習・指導法  | 2 | 回       | 養育・家庭生活 | 6 | 回    | 情報提供 | 回 |
| 卒業・進路   | 回 | 養育・家庭生活 | 6       | 回 | 情報提供 | 回    |   |
| 不登校・いじめ | 回 | その他     | 15      | 回 | その他  | 回    |   |

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

- ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩

- (1) 機関名  
 ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

- (2) 連携内容  
 ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
 ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

- (3) 成果  
 ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な視点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( )

- (4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の在り方(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	具体的な内容
①	特別支援学校専門相談員(早期育成、小中高等学校)のコーディネーター担当者(資質向上)。

- (1) 課題・方策  
 ①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

- 4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入
- |    |   |
|----|---|
| 取組 | 具体的な内容                                  |
| ①  | 特別支援学校専門相談員連絡協議会に参加し、情報交換・資質向上に取り組んでいる。 |

- (1) 取組  
 ①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会	機関番号	機関名
教育相談に関する事項	19	福井県特別支援教育センター
関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方		
様々なニーズに応える相対支援体制の在り方		

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	1,370	件	総回数	9,178	回
幼児・新学齢児	207	件	小学生	691	件
小学生	202	件	高校生	43	件
中学生	1,131	件	1,985	回	
高校生	7,000	回	982	回	

- (2) 対象別内訳
- |       |       |   |   |
|-------|-------|---|---|
| 知的障害  | 297   | 件 | 回 |
| 言語障害  | 29    | 件 | 回 |
| 視覚障害  | 4     | 件 | 回 |
| 聴覚障害  | 1,012 | 件 | 回 |
| 発達障害  | 1,012 | 件 | 回 |
| 重度・重覆 | 1,012 | 件 | 回 |
| その他   | 1,012 | 件 | 回 |

- (3) 内容別内訳
- |         |   |
|---------|---|
| 学習・指導法  | 回 |
| 養育・家庭生活 | 回 |
| いじめ・不登校 | 回 |
| その他     | 回 |

- (4) 障害別内訳
- |       |       |   |   |
|-------|-------|---|---|
| 知的障害  | 297   | 件 | 回 |
| 言語障害  | 29    | 件 | 回 |
| 視覚障害  | 4     | 件 | 回 |
| 聴覚障害  | 1,012 | 件 | 回 |
| 発達障害  | 1,012 | 件 | 回 |
| 重度・重覆 | 1,012 | 件 | 回 |
| その他   | 1,012 | 件 | 回 |

- (5) 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒
- |     |     |   |       |   |
|-----|-----|---|-------|---|
| 小学生 | 727 | 件 | 1,752 | 回 |
| 中学生 | 43  | 件 | 330   | 回 |
| 高校生 | 0   | 件 | 0     | 回 |

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

- (1) 電話相談の対象別内訳
- |     |   |      |   |    |   |     |   |
|-----|---|------|---|----|---|-----|---|
| 保護者 | 回 | 関係教員 | 回 | 本人 | 回 | その他 | 回 |
|-----|---|------|---|----|---|-----|---|

- (2) 電話相談の内容別内訳
- |         |   |         |   |      |   |
|---------|---|---------|---|------|---|
| 学習・指導法  | 回 | 養育・家庭生活 | 回 | 情報提供 | 回 |
| 卒業・進路   | 回 | 養育・家庭生活 | 回 | 情報提供 | 回 |
| 不登校・いじめ | 回 | その他     | 回 | その他  | 回 |

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

- ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩

- (1) 機関名  
 ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

- (2) 連携内容  
 ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
 ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

- (3) 成果  
 ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な視点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( )

- (4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の在り方(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	具体的な内容
①	医療機関や福祉との連携が多くはっているが、誰がどこに何を、どのように連携しているか、またそれぞれの役割が明確化されていない。連携がとれている機関とのシステムを明らかにし、他機関にもつなげていく。

- (1) 課題・方策  
 ①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

- 4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入
- |    |   |
|----|---|
| 取組 | 具体的な内容  |
| ①  | 週1回 所内研修(目標設定、教育相談、高学年のやり方のスキルアップやLD支援の研修、思春期の生徒の教育相談など所員のニーズに応じた研修を実施している。 |

- (1) 取組  
 ①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのかかわりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 20	機関名 山梨県総合教育センター
---	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

総件数	285	件	総回数	528	回
幼児・新学齢児	93	件	144	回	
中学生	85	件	163	回	

② 対象別内訳

小学生	146	件	232	回	
中学生	88	件	173	回	
その他	6	件	7	回	

③ 内容別内訳

知的障害	98	件	180	回	
言語障害	1	件	1	回	
発達障害	0	件	0	回	
発達障害	47	件	90	回	
重度・重傷	0	件	0	回	
その他	0	件	0	回	

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	99	件	179	回	
聴覚障害	2	件	3	回	
視覚障害	0	件	0	回	
肢体不自由	2	件	4	回	
発達障害	47	件	90	回	
その他	46	件	71	回	

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	98	件	180	回	
中学生	2	件	4	回	
高校生	0	件	0	回	

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	196	回	関係教員	547	回	本人	0	回	その他	279	回
-----	-----	---	------	-----	---	----	---	---	-----	-----	---

② 電話相談の内容別内訳

現学・進学	311	回	学習・指導法	0	回	学校生活(本人関係等)	325	回
卒業・進路	120	回	養育・家庭生活	18	回	情報提供	193	回
不登校・いじめ	0	回	その他	53	回			

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つを選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(2) 連携内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(2) 取組

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(3) 方策

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(4) その他

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 取組

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのかかわりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 21	機関名 長野県総合教育センター
---	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

総件数	224	件	総回数	224	回
幼児・新学齢児	120	件	120	回	
中学生	38	件	38	回	

② 対象別内訳

小学生	120	件	120	回	
中学生	38	件	38	回	
その他	0	件	0	回	

③ 内容別内訳

知的障害	0	件	0	回	
言語障害	0	件	0	回	
発達障害	0	件	0	回	
発達障害	199	件	199	回	
重度・重傷	0	件	0	回	
その他	0	件	0	回	

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	0	件	0	回	
聴覚障害	0	件	0	回	
視覚障害	0	件	0	回	
肢体不自由	0	件	0	回	
発達障害	199	件	199	回	
その他	0	件	0	回	

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	84	件	84	回	
中学生	38	件	38	回	
高校生	0	件	0	回	

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	106	回	関係教員	34	回	本人	6	回	その他	7	回
-----	-----	---	------	----	---	----	---	---	-----	---	---

② 電話相談の内容別内訳

現学・進学	9	回	学習・指導法	9	回	学校生活(本人関係等)	50	回
卒業・進路	6	回	養育・家庭生活	6	回	情報提供	0	回
不登校・いじめ	64	回	その他	24	回			

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つを選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(2) 連携内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(2) 取組

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(3) 方策

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(4) その他

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 取組

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会	機関番号	機関名
教育相談に関する事項	22	岐阜県総合教育センター
関係機関や地域とご対応のつながりをお大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方		

※機関番号、機関名は、本アンケートの入り方第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	117	件	総回数	238	回
-----	-----	---	-----	-----	---

② 対象別内訳

幼児・新学齢児	0	件	0	回
小学生	31	件	61	回
中学生				
高校生				

③ 内容別内訳 ※未分類のため、記入できません。

就学・進学	件	件	回
卒業・進路	件	件	回
学習・指導法	件	件	回
養育・家庭生活	件	件	回
いじめ・不登校	件	件	回
その他	件	件	回

④ 障害別内訳

知的障害	8	件	16	回
言語障害	0	件	0	回
聴覚障害	0	件	0	回
視覚障害	0	件	0	回
発達障害	109	件	222	回
重度・重覆	0	件	0	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	件	回
中学生	件	件	回
高校生	件	件	回

※未分類のため、記入できません。

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳 ※未分類のため、記入できません。

保護者	回	本人	回	その他	回
-----	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内訳別内訳 ※未分類のため、記入できません。

就学・進学	回	学習・指導法	回	学校生活(本人関係等)	回
卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	回		回

③ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	件	回
中学生	件	件	回
高校生	件	件	回

※未分類のため、記入できません。

(3) 教育相談における連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

(2) 連携内容

(3) 成果

(4) 課題

(5) その他

(6) その他

(7) その他

(8) その他

(9) その他

(10) その他

(11) その他

(12) その他

(13) その他

(14) その他

(15) その他

(16) その他

(17) その他

(18) その他

(19) その他

(20) その他

(21) その他

(22) その他

(23) その他

(24) その他

(25) その他

(26) その他

(27) その他

第1分科会	機関番号	機関名
教育相談に関する事項	23	静岡県総合教育センター
関係機関や地域とご対応のつながりをお大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方		

※機関番号、機関名は、本アンケートの入り方第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	件	件	総回数	回
-----	---	---	-----	---

② 対象別内訳

幼児・新学齢児	件	件	回
小学生	件	件	回
中学生			
高校生			

③ 内容別内訳

就学・進学	件	件	回
卒業・進路	件	件	回
学習・指導法	件	件	回
養育・家庭生活	件	件	回
いじめ・不登校	件	件	回
その他	件	件	回

④ 障害別内訳

知的障害	件	件	回
言語障害	件	件	回
聴覚障害	件	件	回
視覚障害	件	件	回
発達障害	件	件	回
重度・重覆	件	件	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	件	回
中学生	件	件	回
高校生	件	件	回

※未分類のため、記入できません。

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	回	本人	回	その他	回
-----	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	回	学習・指導法	回	学校生活(本人関係等)	回
卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	回		回

③ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	件	回
中学生	件	件	回
高校生	件	件	回

※未分類のため、記入できません。

(3) 教育相談における連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

(2) 連携内容

(3) 成果

(4) 課題

(5) その他

(6) その他

(7) その他

(8) その他

(9) その他

(10) その他

(11) その他

(12) その他

(13) その他

(14) その他

(15) その他

(16) その他

(17) その他

(18) その他

(19) その他

(20) その他

(21) その他

(22) その他

(23) その他

(24) その他

(25) その他

(26) その他

(27) その他

第1分科会	機関番号	機関名
教育相談に関する事項	23	静岡県総合教育センター
関係機関や地域とご対応のつながりをお大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方		

※機関番号、機関名は、本アンケートの入り方第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	件	件	総回数	回
-----	---	---	-----	---

② 対象別内訳

幼児・新学齢児	件	件	回
小学生	件	件	回
中学生			
高校生			

③ 内容別内訳

就学・進学	件	件	回
卒業・進路	件	件	回
学習・指導法	件	件	回
養育・家庭生活	件	件	回
いじめ・不登校	件	件	回
その他	件	件	回

④ 障害別内訳

知的障害	件	件	回
言語障害	件	件	回
聴覚障害	件	件	回
視覚障害	件	件	回
発達障害	件	件	回
重度・重覆	件	件	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	件	回
中学生	件	件	回
高校生	件	件	回

※未分類のため、記入できません。

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	回	本人	回	その他	回
-----	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	回	学習・指導法	回	学校生活(本人関係等)	回
卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	回		回

③ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	件	回
中学生	件	件	回
高校生	件	件	回

※未分類のため、記入できません。

(3) 教育相談における連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

(2) 連携内容

(3) 成果

(4) 課題

(5) その他

(6) その他

(7) その他

(8) その他

(9) その他

(10) その他

(11) その他

(12) その他

(13) その他

(14) その他

(15) その他

(16) その他

(17) その他

(18) その他

(19) その他

(20) その他

(21) その他

(22) その他

(23) その他

(24) その他

(25) その他

(26) その他

(27) その他

第1分科会	機関番号	機関名
教育相談に関する事項	23	静岡県総合教育センター
関係機関や地域とご対応のつながりをお大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方		

※機関番号、機関名は、本アンケートの入り方第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	件	件	総回数	回
-----	---	---	-----	---

② 対象別内訳

幼児・新学齢児	件	件	回
小学生	件	件	回
中学生			
高校生			

③ 内容別内訳

就学・進学	件	件	回
卒業・進路	件	件	回
学習・指導法	件	件	回
養育・家庭生活	件	件	回
いじめ・不登校	件	件	回
その他	件	件	回

④ 障害別内訳

知的障害	件	件	回
言語障害	件	件	回
聴覚障害	件	件	回
視覚障害	件	件	回
発達障害	件	件	回
重度・重覆	件	件	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	件	回
中学生	件	件	回
高校生	件	件	回

※未分類のため、記入できません。

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	回	本人	回	その他	回
-----	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	回	学習・指導法	回	学校生活(本人関係等)
-------	---	--------	---	-------------

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会	機関番号	機関名
教育相談に関する事項	24	愛知県総合教育センター
関係機関や地域とのかかわりを大切にしたい。多様なニーズに応える相談支援体制の在り方		

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

幼児・新学齢児	96 件	175 回	回
中学生	38 件	89 回	回
合計	376 件	982 回	回

② 対象別内訳

就学・進学	48 件	80 回	回
卒業・進路	9 件	16 回	回
学校生活(個人相談等)	0 件	0 回	回
その他	2 件	2 回	回

③ 障害別内訳

知的障害	28 件	55 回	回
聴覚障害	2 件	8 回	回
視覚障害	4 件	4 回	回
肢体不自由	187 件	376 回	回
重度・重傷	0 件	0 回	回

④ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	146 件	436 回	回
中学生	3 件	11 回	回
合計	149 件	447 回	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	342 回	関係教員	24 回	本人	0 回	その他	9 回
合計	376 回	合計	266 回	合計	0 回	合計	9 回

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	42 回	学習・指導法	285 回	学校生活(個人相談等)	回
卒業・進路	21 回	養育・家庭生活	9 回	情報提供	回
不登校・いじめ	0 回	その他	18 回	その他	回
合計	63 回	合計	302 回	合計	回

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④

(1) 機関名

- ① 発達障害支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 教育センター  
 ④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高等義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校  
 ⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
 ⑫ その他( ) ⑬ その他( ) ⑭ その他( )

(2) 連携内容

- ① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
 ⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他( )  
 ⑫ その他( ) ⑬ その他( ) ⑭ その他( )

(3) 成果

- ① 他機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な観点からの相談  
 ④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
 ⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
 ⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他( ) ⑬ その他( ) ⑭ その他( )

(4) 課題

- ① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
 ④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
 ⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
 ⑪ その他( ) ⑫ その他( ) ⑬ その他( ) ⑭ その他( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題 ② 取組

(1) 課題

① 他機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
 ④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(2) 取組

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
 ④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(3) 今後の取組

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
 ④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会	機関番号	機関名
教育相談に関する事項	25	三重県教育委員会事務局
関係機関や地域とのかかわりを大切にしたい。多様なニーズに応える相談支援体制の在り方		

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

幼児・新学齢児	1 件	1 回	回
中学生	19 件	88 回	回
合計	20 件	89 回	回

② 対象別内訳

就学・進学	1 件	1 回	回
卒業・進路	0 件	0 回	回
学校生活(個人相談等)	0 件	0 回	回
その他	19 件	88 回	回

③ 障害別内訳

知的障害	0 件	0 回	回
聴覚障害	0 件	0 回	回
視覚障害	0 件	0 回	回
肢体不自由	0 件	0 回	回
重度・重傷	0 件	0 回	回

④ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	0 件	0 回	回
中学生	0 件	0 回	回
合計	0 件	0 回	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	77 回	関係教員	6 回	本人	1 回	その他	2 回
合計	83 回	合計	63 回	合計	1 回	合計	2 回

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	回	学習・指導法	回	学校生活(個人相談等)	回
卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	回	その他	回
合計	回	合計	回	合計	回

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④

(1) 機関名

- ① 発達障害支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 教育センター  
 ④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高等義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校  
 ⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
 ⑫ その他( ) ⑬ その他( ) ⑭ その他( )

(2) 連携内容

- ① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
 ⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他( )  
 ⑫ その他( ) ⑬ その他( ) ⑭ その他( )

(3) 成果

- ① 他機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な観点からの相談  
 ④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
 ⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
 ⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他( ) ⑬ その他( ) ⑭ その他( )

(4) 課題

- ① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
 ④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
 ⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
 ⑪ その他( ) ⑫ その他( ) ⑬ その他( ) ⑭ その他( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題 ② 取組

(1) 課題

① 他機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
 ④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(2) 取組

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
 ④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(3) 今後の取組

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
 ④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会	機関番号	機関名
教育相談に関する事項	26	滋賀県総合教育センター
関係機関や地域とのかかわりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方		

※機関番号、機関名は、本アンケートの回答2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

幼児・新学齢児	3 件	7 回	282 回
小学生	24 件	96 回	
中学生			
合計	27 件	103 回	

② 対象別内訳

就学・進学	18 件	100 回
卒業・進路	1 件	99 回
学校生活(個人相談等)	27 件	88 回
その他	24 件	97 回

③ 内容別内訳

知的障害	12 件	57 回
言語障害	0 件	0 回
発達障害	0 件	0 回
視覚障害	34 件	159 回
聴覚障害	0 件	0 回
重複・重複	0 件	0 回

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	12 件	57 回
知的障害	0 件	0 回
発達障害	0 件	0 回
視覚障害	34 件	159 回
聴覚障害	0 件	0 回
重複・重複	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	21 件	130 回
中学生	23 件	130 回
高校生		
合計	44 件	260 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	306 回	関係職員	39 回	本人	5 回	その他	7 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	167 回	学習・指導法	129 回	学校生活(個人相談等)	173 回
卒業・進路	1 回	養育・家庭生活	93 回	情報提供	122 回
不登校・いじめ	178 回	その他	0 回		

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

(2) 連携内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の施策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 課題

課題・方策	各特別支援教育センター等と連携できよう、コーディネーター運用を強化し、センターの取組を促すこと、連携体制を強化し、周知を図る。
-------	---

(2) 取組

取組	研修等の機会をセンターとして具体的に計画できないため、現在在籍中の相談員の主体的な取組を促すこと、資質向上のための研修が必要であると思われるため。
----	---

(3) 外部研修への参加

(4) 関係機関との情報交換

(5) その他

(6) 関係機関との情報交換

(7) その他

(8) その他

(9) その他

(10) その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会	機関番号	機関名
教育相談に関する事項	27	京都府総合教育センター
関係機関や地域とのかかわりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方		

※機関番号、機関名は、本アンケートの回答2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

幼児・新学齢児	0 件	0 回	119 回
小学生	1 件	12 回	
中学生			
合計	1 件	12 回	

② 対象別内訳

就学・進学	0 件	0 回
卒業・進路	2 件	0 回
学校生活(個人相談等)	2 件	60 回
その他	0 件	0 回

③ 内容別内訳

知的障害	0 件	0 回
言語障害	0 件	0 回
発達障害	0 件	0 回
視覚障害	6 件	119 回
聴覚障害	0 件	0 回
重複・重複	0 件	0 回

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	0 件	0 回
知的障害	0 件	0 回
発達障害	0 件	0 回
視覚障害	6 件	119 回
聴覚障害	0 件	0 回
重複・重複	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	4 件	64 回
中学生	1 件	43 回
高校生		
合計	5 件	107 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	63 回	関係職員	0 回	本人	0 回	その他	4 回
-----	------	------	-----	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	3 回	学習・指導法	5 回	学校生活(個人相談等)	1 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	36 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	1 回	その他	11 回		

2 教育相談において連携している主な機関(1)より3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

(2) 連携内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の施策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 課題

課題・方策	各特別支援教育センター等と連携できよう、コーディネーター運用を強化し、センターの取組を促すこと、連携体制を強化し、周知を図る。
-------	---

(2) 取組

取組	研修等の機会をセンターとして具体的に計画できないため、現在在籍中の相談員の主体的な取組を促すこと、資質向上のための研修が必要であると思われるため。
----	---

(3) 外部研修への参加

(4) 関係機関との情報交換

(5) その他

(6) 関係機関との情報交換

(7) その他

(8) その他

(9) その他

(10) その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とご対応の相対支援体制の在り方 障がなニーズに応える相対支援体制の在り方	機関番号 28	機関名 大阪府教育センター
---	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	127 件	総回数	127 回
-----	-------	-----	-------

対象別内訳	小学生	0 件	0 回
	中学生	0 件	0 回
	高校生	127 件	127 回

内容別内訳	学習・指導法	件	回
	卒業・進路	件	回
	養育・家庭生活	件	回
	いじめ・不登校	件	回
	その他	件	回

障害別内訳	知的障害	件	回
	言語障害	件	回
	聴覚障害	件	回
	視覚障害	件	回
	発達障害	件	回
	重度・重覆	件	回

来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒	小学生	0 件	0 回
	中学生	127 件	127 回
	高校生	0 件	0 回

特別支援教育に関する電話相談実績	保護者	77 回	関係教員	1 回	本人	1 回	その他	0 回
------------------	-----	------	------	-----	----	-----	-----	-----

電話相談の対象別内訳	保護者の内容別内訳	学習・指導法	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	不登校・いじめ	回	その他	回
------------	-----------	--------	---	-------	---	---------	---	---------	---	-----	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	204 回	関係教員	15 回	本人	7 回	その他	16 回
---------	-------	------	------	----	-----	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	204 回	関係教員	15 回	本人	7 回	その他	16 回
---------	-------	------	------	----	-----	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	204 回	関係教員	15 回	本人	7 回	その他	16 回
---------	-------	------	------	----	-----	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とご対応の相対支援体制の在り方 障がなニーズに応える相対支援体制の在り方	機関番号 29	機関名 兵庫県立特別支援教育センター
---	------------	-----------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	61 件	総回数	134 回
-----	------	-----	-------

対象別内訳	小学生	27 件	60 回
	中学生	13 件	30 回
	高校生	0 件	0 回

内容別内訳	学習・指導法	23 件	40 回
	卒業・進路	10 件	29 回
	養育・家庭生活	10 件	23 回
	いじめ・不登校	10 件	23 回
	その他	0 件	0 回

障害別内訳	知的障害	1 件	2 回
	聴覚障害	0 件	0 回
	視覚障害	1 件	2 回
	発達障害	1 件	2 回
	重度・重覆	0 件	0 回

来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒	小学生	24 件	48 回
	中学生	17 件	36 回
	高校生	0 件	0 回

特別支援教育に関する電話相談実績	保護者	204 回	関係教員	15 回	本人	7 回	その他	16 回
------------------	-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

電話相談の対象別内訳	保護者の内容別内訳	学習・指導法	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-----------	--------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	204 回	関係教員	15 回	本人	7 回	その他	16 回
---------	-------	------	------	----	-----	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	204 回	関係教員	15 回	本人	7 回	その他	16 回
---------	-------	------	------	----	-----	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	204 回	関係教員	15 回	本人	7 回	その他	16 回
---------	-------	------	------	----	-----	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

2 教育相談における連携している主な機関を(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩

- (1) 機関名  
 ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

- (2) 連携内容  
 ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
 ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

- (3) 成果  
 ①関係機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( )

- (4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の在り方(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	具体的な内容
①	特別支援学校、小・中学校、高等学校等の特別支援教育CoIに対して、当センターの研修講座等を通じて、地場支援の充実やセンターとの連携、役割分担について理解と推進を図っている。

- (1) 課題・方策  
 ①関係機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	具体的な内容
①	連携会議等への参加等を通じて、情報交換を図っている。

- (1) 取組  
 ①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とご対応の相対支援体制の在り方 障がなニーズに応える相対支援体制の在り方	機関番号 28	機関名 大阪府教育センター
---	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	127 件	総回数	127 回
-----	-------	-----	-------

対象別内訳	小学生	0 件	0 回
	中学生	0 件	0 回
	高校生	127 件	127 回

内容別内訳	学習・指導法	件	回
	卒業・進路	件	回
	養育・家庭生活	件	回
	いじめ・不登校	件	回
	その他	件	回

障害別内訳	知的障害	件	回
	言語障害	件	回
	聴覚障害	件	回
	視覚障害	件	回
	発達障害	件	回
	重度・重覆	件	回

来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒	小学生	0 件	0 回
	中学生	127 件	127 回
	高校生	0 件	0 回

特別支援教育に関する電話相談実績	保護者	77 回	関係教員	1 回	本人	1 回	その他	0 回
------------------	-----	------	------	-----	----	-----	-----	-----

電話相談の対象別内訳	保護者の内容別内訳	学習・指導法	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-----------	--------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	204 回	関係教員	15 回	本人	7 回	その他	16 回
---------	-------	------	------	----	-----	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	204 回	関係教員	15 回	本人	7 回	その他	16 回
---------	-------	------	------	----	-----	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	204 回	関係教員	15 回	本人	7 回	その他	16 回
---------	-------	------	------	----	-----	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

電話相談の件数	17 回	学習・指導法	41 回	卒業・進路	34 回	養育・家庭生活	3 回	不登校・いじめ	25 回	その他	62 回
---------	------	--------	------	-------	------	---------	-----	---------	------	-----	------

電話相談の内訳別内訳	現学・進路	回	卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
------------	-------	---	-------	---	---------	---	------	---

2 教育相談における連携している主な機関を(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と対応する来所相談実績 数などニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 30	機関名 奈良県立教育研究所
---	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	146 件	総回数	294 回
-----	-------	-----	-------

- ② 対象別内訳

小学生	9 件	12 回
中学生	44 件	94 回

- ③ 内容別内訳

就学・進学	9 件	16 回
卒業・進路	9 件	13 回
学校生活(個人関係等)	49 件	98 回
その他	5 件	20 回

- ④ 障害別内訳

知的障害	20 件	31 回
聴覚障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
発達障害	100 件	217 回
重度・重覆	0 件	0 回

- ⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	61 件	103 回
中学生	25 件	41 回

- (2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	241 回	関係教員	249 回	本人	5 回	その他	99 回
-----	-------	------	-------	----	-----	-----	------

- ① 電話相談の対象別内訳

保護者	241 回	関係教員	249 回	本人	5 回	その他	99 回
-----	-------	------	-------	----	-----	-----	------

- ② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	25 回	学習・指導法	153 回	学校生活(個人関係等)	194 回
卒業・進路	41 回	養育・家庭生活	68 回	情報提供	71 回
不登校・いじめ	40 回	その他	2 回		

- ③ 成果

① 情報交換、情報共有	② 医療的診断	③ 相談連携	④ 支援依頼	⑤ 検査依頼	⑥ 支援内容・方法の検討
⑦ 事例検討会	⑧ 支援会議	⑨ 指導・助言	⑩ 研修協力	⑪ その他1	
⑫ その他2		⑬ その他3			

- (4) 課題

① ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

- (5) 機関名

- ① 発達障害者支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 療育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高等学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

- (2) 連携内容

- ① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )  
⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

- (3) 成果

- ① 関係機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な観点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と対応する来所相談実績 数などニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 31	機関名 和歌山県教育センター学びの丘
---	------------	-----------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	0 件	総回数	0 回
-----	-----	-----	-----

- ② 対象別内訳

小学生	0 件	0 回
中学生	0 件	0 回

- ③ 内容別内訳

就学・進学	0 件	0 回
卒業・進路	0 件	0 回
学校生活(個人関係等)	0 件	0 回
その他	0 件	0 回

- ④ 障害別内訳

知的障害	0 件	0 回
聴覚障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
発達障害	0 件	0 回
重度・重覆	0 件	0 回

- ⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	0 件	0 回
中学生	0 件	0 回

- (2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	0 回	関係教員	0 回	本人	0 回	その他	0 回
-----	-----	------	-----	----	-----	-----	-----

- ① 電話相談の対象別内訳

保護者	0 回	関係教員	0 回	本人	0 回	その他	0 回
-----	-----	------	-----	----	-----	-----	-----

- ② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	学習・指導法	0 回	学校生活(個人関係等)	0 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	0 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	0 回	その他	0 回		

- ③ 成果

① 情報交換、情報共有	② 医療的診断	③ 相談連携	④ 支援依頼	⑤ 検査依頼	⑥ 支援内容・方法の検討
⑦ 事例検討会	⑧ 支援会議	⑨ 指導・助言	⑩ 研修協力	⑪ その他1	
⑫ その他2		⑬ その他3			

- (4) 課題

① ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

- (5) 機関名

- ① 発達障害者支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 療育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高等学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

- (2) 連携内容

- ① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )  
⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

- (3) 成果

- ① 関係機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な観点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題

課題	方策

- (1) 課題

- ① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 取組

取組	具体的な内容

- (1) 取組

- ① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とつながりを感じた多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 32	機関名 鳥取県教育センター
---	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

幼児・新学齢児	73 件	648 回	回	回
中学生	62 件	127 回	回	回
合計	135 件	775 回	回	回

② 対象別内訳

就学・進学	6 件	51 回	回	回
卒業・進路	7 件	42 回	回	回
学校生活(個人相談等)	140 件	246 回	回	回
その他	3 件	3 回	回	回

③ 内容別内訳

知的障害	31 件	242 回	回	回
言語障害	21 件	140 回	回	回
視覚障害	0 件	0 回	回	回
聴覚障害	203 件	718 回	回	回
重度・重覆	0 件	0 回	回	回

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	31 件	242 回	回	回
聴覚障害	21 件	140 回	回	回
視覚障害	0 件	0 回	回	回
聴覚障害	203 件	718 回	回	回
重度・重覆	0 件	0 回	回	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	83 件	131 回	回	回
高校生	29 件	86 回	回	回
合計	112 件	217 回	回	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	111 回	関係教員	64 回	本人	19 回	その他	18 回
-----	-------	------	------	----	------	-----	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	16 回	学習・指導法	8 回	学校生活(個人相談等)	97 回
卒業・進路	2 回	養育・家庭生活	11 回	情報提供	9 回
不登校・いじめ	57 回	その他	12 回		

③ 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 取組

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 関係機関

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

幼児・新学齢児	73 件	648 回	回	回
中学生	62 件	127 回	回	回
合計	135 件	775 回	回	回

② 対象別内訳

就学・進学	6 件	51 回	回	回
卒業・進路	7 件	42 回	回	回
学校生活(個人相談等)	140 件	246 回	回	回
その他	3 件	3 回	回	回

③ 内容別内訳

知的障害	31 件	242 回	回	回
言語障害	21 件	140 回	回	回
視覚障害	0 件	0 回	回	回
聴覚障害	203 件	718 回	回	回
重度・重覆	0 件	0 回	回	回

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	31 件	242 回	回	回
聴覚障害	21 件	140 回	回	回
視覚障害	0 件	0 回	回	回
聴覚障害	203 件	718 回	回	回
重度・重覆	0 件	0 回	回	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	83 件	131 回	回	回
高校生	29 件	86 回	回	回
合計	112 件	217 回	回	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	111 回	関係教員	64 回	本人	19 回	その他	18 回
-----	-------	------	------	----	------	-----	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	16 回	学習・指導法	8 回	学校生活(個人相談等)	97 回
卒業・進路	2 回	養育・家庭生活	11 回	情報提供	9 回
不登校・いじめ	57 回	その他	12 回		

③ 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 取組

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 関係機関

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 特別支援教育に関する来所相談実績

幼児・新学齢児	73 件	648 回	回	回
中学生	62 件	127 回	回	回
合計	135 件	775 回	回	回

② 対象別内訳

就学・進学	6 件	51 回	回	回
卒業・進路	7 件	42 回	回	回
学校生活(個人相談等)	140 件	246 回	回	回
その他	3 件	3 回	回	回

③ 内容別内訳

知的障害	31 件	242 回	回	回
言語障害	21 件	140 回	回	回
視覚障害	0 件	0 回	回	回
聴覚障害	203 件	718 回	回	回
重度・重覆	0 件	0 回	回	回

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	31 件	242 回	回	回
聴覚障害	21 件	140 回	回	回
視覚障害	0 件	0 回	回	回
聴覚障害	203 件	718 回	回	回
重度・重覆	0 件	0 回	回	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	83 件	131 回	回	回
高校生	29 件	86 回	回	回
合計	112 件	217 回	回	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	111 回	関係教員	64 回	本人	19 回	その他	18 回
-----	-------	------	------	----	------	-----	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	16 回	学習・指導法	8 回	学校生活(個人相談等)	97 回
卒業・進路	2 回	養育・家庭生活	11 回	情報提供	9 回
不登校・いじめ	57 回	その他	12 回		

③ 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 取組

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 関係機関

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 特別支援教育に関する来所相談実績

幼児・新学齢児	73 件	648 回	回	回
中学生	62 件	127 回	回	回
合計	135 件	775 回	回	回

② 対象別内訳

就学・進学	6 件	51 回	回	回
卒業・進路	7 件	42 回	回	回
学校生活(個人相談等)	140 件	246 回	回	回
その他	3 件	3 回	回	回

③ 内容別内訳

知的障害	31 件	242 回	回	回
言語障害	21 件	140 回	回	回
視覚障害	0 件	0 回	回	回
聴覚障害	203 件	718 回	回	回
重度・重覆	0 件	0 回	回	回

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	31 件	242 回	回	回
聴覚障害	21 件	140 回	回	回
視覚障害	0 件	0 回	回	回
聴覚障害	203 件	718 回	回	回
重度・重覆	0 件	0 回	回	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	83 件	131 回	回	回
高校生	29 件	86 回	回	回
合計	112 件	217 回	回	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	111 回	関係教員	64 回	本人	19 回	その他	18 回
-----	-------	------	------	----	------	-----	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	16 回	学習・指導法	8 回	学校生活(個人相談等)	97 回
卒業・進路	2 回	養育・家庭生活	11 回	情報提供	9 回
不登校・いじめ	57 回	その他	12 回		

③ 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 取組

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 関係機関

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 特別支援教育に関する来所相談実績

幼児・新学齢児	73 件	648 回	回	回
中学生	62 件	127 回	回	回
合計	135 件	775 回	回	回

② 対象別内訳

就学・進学	6 件	51 回	回	回
卒業・進路	7 件	42 回	回	回
学校生活(個人相談等)	140 件	246 回	回	回
その他	3 件	3 回	回	回

③ 内容別内訳

知的障害	31 件	242 回	回	回
言語障害				

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのかかわりを大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 34	機関名 岡山県総合教育センター
---	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	45 件	総回数	287 回
② 対象別内訳			
幼児・新学齢児	0 件	0 回	
中学生	11 件	31 回	

③ 内容別内訳

就学・進学	2 件	8 回	66 回
卒業・進路	0 件	0 回	81 回
学校生活(個人相談等)	23 件	132 回	0 回
その他	0 件	0 回	0 回

④ 障害別内訳

知的障害	4 件	45 回	242 回
聴覚障害	0 件	0 回	0 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回
肢体不自由	0 件	0 回	0 回
発達障害	0 件	0 回	0 回
重複・重覆	0 件	0 回	0 回

⑤ 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	19 件	154 回	
高校生	8 件	41 回	
中学生	4 件	31 回	

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	176 回	関係教員	7 回	本人	0 回	その他	0 回
-----	-------	------	-----	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	24 回	学習・指導法	23 回	学校生活(個人相談等)	22 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	49 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	0 回	その他	65 回		

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)~(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

- ① 機関名  
① 発達障害者支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 教育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )
- ② 連携内容  
① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )  
⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )
- ③ 成果  
① 関係機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な視点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( )
- ④ 課題  
① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	教育相談担当者による教育相談担当者研修会の実施 外部研修への参加による自己研鑽
-------	--

- (1) 課題・方策  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	多様な視点から教育相談の内容を専ら研修を企画・実施する。 担当者が事例提供をし、事例検討会を行うことで、相談の方向性を協議する。
----	---

- (1) 取組  
① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのかかわりを大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 35	機関名 広島県立教育センター
---	------------	-------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	140 件	総回数	140 回
② 対象別内訳			
幼児・新学齢児	6 件	6 回	
中学生	27 件	27 回	

③ 内容別内訳

就学・進学	0 件	0 回	139 回
卒業・進路	0 件	0 回	0 回
学校生活(個人相談等)	1 件	1 回	0 回
その他	0 件	0 回	0 回

④ 障害別内訳

知的障害	5 件	5 回	11 回
聴覚障害	0 件	0 回	0 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回
肢体不自由	0 件	0 回	0 回
発達障害	5 件	5 回	0 回
重複・重覆	0 件	0 回	0 回

⑤ 来所相談に占める通級の学級に在籍する児童生徒

小学生	96 件	96 回	
高校生	5 件	5 回	
中学生	28 件	28 回	

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	116 回	関係教員	40 回	本人	0 回	その他	10 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	1 回	学習・指導法	122 回	学校生活(個人相談等)	18 回
卒業・進路	3 回	養育・家庭生活	5 回	情報提供	15 回
不登校・いじめ	0 回	その他	1 回		

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)~(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

- ① 機関名  
① 発達障害者支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 教育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )
- ② 連携内容  
① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )  
⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )
- ③ 成果  
① 関係機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な視点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( )
- ④ 課題  
① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	教育相談についての専門性の向上 具体的内容
-------	--------------------------

- (1) 課題・方策  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	教育相談担当者内の教育相談等の方法・内容を共有 具体的内容
----	----------------------------------

- (1) 取組  
① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 36	機関名 やまぐち総合教育支援センター内 ふれあい教育センター
---	------------	--------------------------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

総件数	165	件	総回数	608	回
-----	-----	---	-----	-----	---

② 対象別内訳

幼児・新学齢児	101	件	357	回
中学生	20	件	74	回

③ 内容別内訳

就学・進学	15	件	63	回
言葉障害	24	件	64	回
発達障害	0	件	0	回
知能障害	22	件	80	回
重度・重覆	0	件	0	回

④ 障害別内訳

知的障害	15	件	63	回
言語障害	24	件	64	回
聴覚障害	0	件	0	回
視覚障害	22	件	80	回
重度・重覆	0	件	0	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	12	件	48	回
中学生	8	件	30	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	192	回	関係教員	124	回	本人	回	その他	回
-----	-----	---	------	-----	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	13	回	学習・指導法	20	回	学校生活(個人相談等)	224	回
卒業・進路	29	回	養育・家庭生活	89	回	情報提供	0	回
不登校・いじめ	372	回	その他	332	回			

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

(2) 連携内容

(3) 成果

(4) 課題

(5) その他

(6) その他

(7) その他

(8) その他

(9) その他

(10) その他

(11) その他

(12) その他

(13) その他

(14) その他

(15) その他

(16) その他

(17) その他

(18) その他

(19) その他

(20) その他

(21) その他

(22) その他

(23) その他

(24) その他

(25) その他

(26) その他

(27) その他

(28) その他

(29) その他

(30) その他

(31) その他

(32) その他

(33) その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 37	機関名 徳島県立総合教育センター
---	------------	---------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

総件数	125	件	総回数	478	回
-----	-----	---	-----	-----	---

② 対象別内訳

幼児・新学齢児	6	件	6	回
中学生	25	件	84	回

③ 内容別内訳

就学・進学	4	件	5	回
言葉障害	5	件	26	回
発達障害	15	件	36	回
知能障害	48	件	108	回
その他				

④ 障害別内訳

知的障害	48	件	108	回
言語障害	5	件	26	回
聴覚障害	0	件	0	回
視覚障害	15	件	36	回
重度・重覆	0	件	0	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	1	件	1	回
中学生	24	件	83	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	13	回	関係教員	20	回	本人	回	その他	回
-----	----	---	------	----	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	13	回	学習・指導法	20	回	学校生活(個人相談等)	224	回
卒業・進路	29	回	養育・家庭生活	89	回	情報提供	0	回
不登校・いじめ	372	回	その他	332	回			

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

(2) 連携内容

(3) 成果

(4) 課題

(5) その他

(6) その他

(7) その他

(8) その他

(9) その他

(10) その他

(11) その他

(12) その他

(13) その他

(14) その他

(15) その他

(16) その他

(17) その他

(18) その他

(19) その他

(20) その他

(21) その他

(22) その他

(23) その他

(24) その他

(25) その他

(26) その他

(27) その他

(28) その他

(29) その他

(30) その他

(31) その他

(32) その他

(33) その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 37	機関名 徳島県立総合教育センター
---	------------	---------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

総件数	125	件	総回数	478	回
-----	-----	---	-----	-----	---

② 対象別内訳

幼児・新学齢児	6	件	6	回
中学生	25	件	84	回

③ 内容別内訳

就学・進学	4	件	5	回
言葉障害	5	件	26	回
発達障害	15	件	36	回
知能障害	48	件	108	回
その他				

④ 障害別内訳

知的障害	48	件	108	回
言語障害	5	件	26	回
聴覚障害	0	件	0	回
視覚障害	15	件	36	回
重度・重覆	0	件	0	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	1	件	1	回
中学生	24	件	83	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	13	回	関係教員	20	回	本人	回	その他	回
-----	----	---	------	----	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	13	回	学習・指導法	20	回	学校生活(個人相談等)	224	回
卒業・進路	29	回	養育・家庭生活	89	回	情報提供	0	回
不登校・いじめ	372	回	その他	332	回			

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1) 機関名

(2) 連携内容

(3) 成果

(4) 課題

(5) その他

(6) その他

(7) その他

(8) その他

(9) その他

(10) その他

(11) その他

(12) その他

(13) その他

(14) その他

(15) その他

(16) その他

(17) その他

(18) その他

(19) その他

(20) その他

(21) その他

(22) その他

(23) その他

(24) その他

(25) その他

(26) その他

(27) その他

(28) その他

(29) その他

(30) その他

(31) その他

(32) その他

(33) その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 37	機関名 徳島県立総合教育センター
---	------------	---------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

総件数	125	件	総回数	478	回
-----	-----	---	-----	-----	---

② 対象別内訳

幼児・新学齢児	6	件	6	回
中学生	25	件	84	回

③ 内容別内訳

就学・進学	4	件	5	回
言葉障害	5	件	26	回
発達障害	15	件	36	回
知能障害	48	件	108	回
その他				

④ 障害別内訳

知的障害	48	件	108	回
言語障害	5	件	26	回
聴覚障害	0	件	0	回
視覚障害	15	件	36	回
重度・重覆	0	件	0	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	1	件	1	回
中学生	24	件	83	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	13	回	関係教員	20	回	本人	回	その他	回
-----	----	---	------	----	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	13	回	学習・指導法	20	回	学校生活(個人相談等)	224	回
卒業・進路	29	回	養育・家庭生活	89	回	情報提供		

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方 障がなニーズに応える相対支援体制の在り方	機関番号 38	機関名 香川県教育センター
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力者が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 ① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	20 件	総回数	117 回
-----	------	-----	-------

② 対象別内訳

小学生	0 件	0 回
中学生	12 件	49 回

③ 内容別内訳

就学・進学	7 件	17 回
卒業・進路	7 件	33 回
学校生活(個人相談)	7 件	17 回
その他	4 件	12 回

④ 障害別内訳

知的障害	1 件	1 回
言語障害	1 件	1 回
視覚障害	1 件	1 回
聴覚障害	20 件	117 回
発達障害	2 件	12 回
重度・重覆	2 件	12 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	2 件	3 回
中学生	5 件	56 回
高校生	3 件	3 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	91 回	関係教員	2 回	本人	5 回	その他	7 回
-----	------	------	-----	----	-----	-----	-----

① 電話相談の対象別内訳

保護者	11 回	養育・家庭生活	30 回	情報提供	4 回	その他	34 回
-----	------	---------	------	------	-----	-----	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	2 回	学習・指導法	2 回	学校生活(個人相談)	24 回	情報提供	11 回
-------	-----	--------	-----	------------	------	------	------

③ 卒業・進路

卒業・進路	11 回	養育・家庭生活	30 回	情報提供	4 回	その他	34 回
-------	------	---------	------	------	-----	-----	------

④ 不登校・いじめ

不登校・いじめ	4 回	その他	34 回
---------	-----	-----	------

⑤ 中学生

中学生	10 件	38 回
-----	------	------

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	151 回	関係教員	39 回	本人	1 回	その他	12 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

① 電話相談の対象別内訳

保護者	3 回	学習・指導法	9 回	学校生活(個人相談)	92 回	情報提供	41 回
-----	-----	--------	-----	------------	------	------	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	養育・家庭生活	25 回	その他	14 回
-------	-----	---------	------	-----	------

③ 卒業・進路

卒業・進路	7 件	14 回
-------	-----	------

④ 不登校・いじめ

不登校・いじめ	5 回	その他	28 回
---------	-----	-----	------

⑤ 中学生

小学生	10 件	36 回
中学生	9 件	21 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	151 回	関係教員	39 回	本人	1 回	その他	12 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

① 電話相談の対象別内訳

保護者	3 回	学習・指導法	9 回	学校生活(個人相談)	92 回	情報提供	41 回
-----	-----	--------	-----	------------	------	------	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	養育・家庭生活	25 回	その他	14 回
-------	-----	---------	------	-----	------

③ 卒業・進路

卒業・進路	7 件	14 回
-------	-----	------

④ 不登校・いじめ

不登校・いじめ	5 回	その他	28 回
---------	-----	-----	------

⑤ 中学生

小学生	10 件	36 回
中学生	9 件	21 回

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方 障がなニーズに応える相対支援体制の在り方	機関番号 39	機関名 愛媛県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力者が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 ① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	63 件	総回数	174 回
-----	------	-----	-------

② 対象別内訳

小学生	4 件	6 回
中学生	18 件	54 回

③ 内容別内訳

就学・進学	2 件	2 回
卒業・進路	2 件	5 回
学校生活(個人相談)	24 件	77 回
その他	0 件	0 回

④ 障害別内訳

知的障害	0 件	0 回
言語障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	7 件	14 回
発達障害	0 件	0 回
重度・重覆	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	10 件	36 回
中学生	9 件	21 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	151 回	関係教員	39 回	本人	1 回	その他	12 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

① 電話相談の対象別内訳

保護者	3 回	学習・指導法	9 回	学校生活(個人相談)	92 回	情報提供	41 回
-----	-----	--------	-----	------------	------	------	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	養育・家庭生活	25 回	その他	14 回
-------	-----	---------	------	-----	------

③ 卒業・進路

卒業・進路	7 件	14 回
-------	-----	------

④ 不登校・いじめ

不登校・いじめ	5 回	その他	28 回
---------	-----	-----	------

⑤ 中学生

小学生	10 件	36 回
中学生	11 件	26 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	151 回	関係教員	39 回	本人	1 回	その他	12 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

① 電話相談の対象別内訳

保護者	3 回	学習・指導法	9 回	学校生活(個人相談)	92 回	情報提供	41 回
-----	-----	--------	-----	------------	------	------	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	養育・家庭生活	25 回	その他	14 回
-------	-----	---------	------	-----	------

③ 卒業・進路

卒業・進路	7 件	14 回
-------	-----	------

④ 不登校・いじめ

不登校・いじめ	5 回	その他	28 回
---------	-----	-----	------

⑤ 中学生

小学生	10 件	36 回
中学生	11 件	26 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	151 回	関係教員	39 回	本人	1 回	その他	12 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

① 電話相談の対象別内訳

保護者	3 回	学習・指導法	9 回	学校生活(個人相談)	92 回	情報提供	41 回
-----	-----	--------	-----	------------	------	------	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	養育・家庭生活	25 回	その他	14 回
-------	-----	---------	------	-----	------

③ 卒業・進路

卒業・進路	7 件	14 回
-------	-----	------

④ 不登校・いじめ

不登校・いじめ	5 回	その他	28 回
---------	-----	-----	------

⑤ 中学生

小学生	10 件	36 回
中学生	11 件	26 回

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方 障がなニーズに応える相対支援体制の在り方	機関番号 39	機関名 愛媛県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力者が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 ① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	63 件	総回数	174 回
-----	------	-----	-------

② 対象別内訳

小学生	4 件	6 回
中学生	18 件	54 回

③ 内容別内訳

就学・進学	2 件	2 回
卒業・進路	2 件	5 回
学校生活(個人相談)	24 件	77 回
その他	0 件	0 回

④ 障害別内訳

知的障害	0 件	0 回
言語障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	7 件	14 回
発達障害	0 件	0 回
重度・重覆	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	10 件	36 回
中学生	9 件	21 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	151 回	関係教員	39 回	本人	1 回	その他	12 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

① 電話相談の対象別内訳

保護者	3 回	学習・指導法	9 回	学校生活(個人相談)	92 回	情報提供	41 回
-----	-----	--------	-----	------------	------	------	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	養育・家庭生活	25 回	その他	14 回
-------	-----	---------	------	-----	------

③ 卒業・進路

卒業・進路	7 件	14 回
-------	-----	------

④ 不登校・いじめ

不登校・いじめ	5 回	その他	28 回
---------	-----	-----	------

⑤ 中学生

小学生	10 件	36 回
中学生	11 件	26 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	151 回	関係教員	39 回	本人	1 回	その他	12 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

① 電話相談の対象別内訳

保護者	3 回	学習・指導法	9 回	学校生活(個人相談)	92 回	情報提供	41 回
-----	-----	--------	-----	------------	------	------	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	養育・家庭生活	25 回	その他	14 回
-------	-----	---------	------	-----	------

③ 卒業・進路

卒業・進路	7 件	14 回
-------	-----	------

④ 不登校・いじめ

不登校・いじめ	5 回	その他	28 回
---------	-----	-----	------

⑤ 中学生

小学生	10 件	36 回
中学生	11 件	26 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	151 回	関係教員	39 回	本人	1 回	その他	12 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

① 電話相談の対象別内訳

保護者	3 回	学習・指導法	9 回	学校生活(個人相談)	92 回	情報提供	41 回
-----	-----	--------	-----	------------	------	------	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	養育・家庭生活	25 回	その他	14 回
-------	-----	---------	------	-----	------

③ 卒業・進路

卒業・進路	7 件	14 回
-------	-----	------

④ 不登校・いじめ

不登校・いじめ	5 回	その他	28 回
---------	-----	-----	------

⑤ 中学生

小学生	10 件	36 回
中学生	11 件	26 回

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方 障がなニーズに応える相対支援体制の在り方	機関番号 39	機関名 愛媛県総合教育センター
--	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力者が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

- (1

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と応える相談支援体制の在り方 障がなニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 40	機関名 高知県教育センター
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	0 件	総回数	0 回
-----	-----	-----	-----

② 対象別内訳

幼児・新学齢児童	件	件	回
中学生	件	件	回

③ 内容別内訳

就学・進学	件	件	回
卒業・進路	件	件	回
学習・指導法	件	件	回
養育・家庭生活	件	件	回
いじめ・不登校	件	件	回
その他	件	件	回

④ 障害別内訳

知的障害	件	件	回
言語障害	件	件	回
聴覚障害	件	件	回
視覚障害	件	件	回
肢体不自由	件	件	回
発達障害	件	件	回
重度・重覆	件	件	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	件	回
高校生	件	件	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	4 回	関係教員	回	本人	回	その他	回
-----	-----	------	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	2 回	学習・指導法	回	学校生活(個人相談等)	回
卒業・進路	1 回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	1 回	回	回

2 教育相談において連携している主な機関を(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩

(1) 機関名  
①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

(2) 連携内容  
①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

(3) 成果  
①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な視点からの相談  
④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( )

(4) 課題  
①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨関係職員の専門性  
⑩その他1 ( ) ⑪その他2 ( ) ⑫その他3 ( ) ⑬その他4 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策

教育相談に携わる、または、今後携わるであろう相談に対して心理検査等の研修内容の充実が求められる。

① 課題  
② 方策

③ 教育相談に携わる、または、今後携わるであろう相談に対して心理検査等の研修内容の充実が求められる。

④ 他機関との連携の推進・強化 ⑤ 相談担当者の専門性の向上 ⑥ 理解啓発・情報発信の充実  
⑦ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑧ 学校等との連携 ⑨ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組

① 大学の講師等による心理検査、アセスメントについての研修を行っている。

(1) 取組

① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と応える相談支援体制の在り方 障がなニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 41	機関名 福岡県教育センター
--	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	2 件	総回数	4 回
-----	-----	-----	-----

② 対象別内訳

幼児・新学齢児童	件	件	回
中学生	1 件	件	3 回

③ 内容別内訳

就学・進学	件	件	回
卒業・進路	件	件	回
学習・指導法	件	件	回
養育・家庭生活	1 件	件	1 回
いじめ・不登校	件	件	回
その他	件	件	回

④ 障害別内訳

知的障害	件	件	回
言語障害	件	件	回
聴覚障害	件	件	回
視覚障害	件	件	回
肢体不自由	2 件	件	4 回
発達障害	件	件	回
重度・重覆	件	件	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	件	回
高校生	1 件	件	3 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	31 回	関係教員	8 回	本人	回	その他	2 回
-----	------	------	-----	----	---	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	6 回	学習・指導法	7 回	学校生活(個人相談等)	9 回
卒業・進路	2 回	養育・家庭生活	8 回	情報提供	7 回
不登校・いじめ	0 回	その他	2 回	回	回

2 教育相談において連携している主な機関を(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩

(1) 機関名  
①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

(2) 連携内容  
①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

(3) 成果  
①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な視点からの相談  
④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( )

(4) 課題  
①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨関係職員の専門性  
⑩その他1 ( ) ⑪その他2 ( ) ⑫その他3 ( ) ⑬その他4 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策

県や各地域の発達障がい者支援センターや療育センターの連携のためのシステム作り

① 課題  
② 方策

③ 県や各地域の発達障がい者支援センターや療育センターの連携のためのシステム作り

④ 他機関との連携の推進・強化 ⑤ 相談担当者の専門性の向上 ⑥ 理解啓発・情報発信の充実  
⑦ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑧ 学校等との連携 ⑨ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組

① 医療・福祉 労働等に関する分野の専門家と現在の要緊の課題や最新の情報などを情報交換し、知見を広げる。

(1) 取組

① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とつながりを感じた多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 42	機関名 佐賀県教育センター
---	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	47 件	総回数	466 回
-----	------	-----	-------

② 対象別内訳

小学生	1 件	10 回
中学生	16 件	178 回

③ 内容別内訳

就学・進学	1 件	10 回
卒業・進路	0 件	0 回
学校生活(個人相談等)	16 件	195 回
その他	6 件	136 回

④ 障害別内訳（統計なし）

知的障害	件	回
言語障害	件	回
発達障害	件	回
視覚障害	件	回
聴覚障害	件	回
重度・重覆	件	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	回
中学生	件	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	63 回	関係職員	0 回	本人	0 回	その他	0 回
-----	------	------	-----	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	10 回	学習・指導法	17 回	学校生活(個人相談等)	16 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	0 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	0 回	その他	20 回		

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

(1) 機関名  
①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③教育センター  
④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
⑫その他( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

(2) 連携内容

①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1( )  
⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

(3) 成果

①関係機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1( ) ⑬その他2 ( )

(4) 課題

①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨関係機関の専門性  
⑩その他1( ) ⑪その他2 ( ) ⑫その他3 ( )  
⑬その他( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	具体的な内容
⑤ 県内で各事例に関するカンファを行う。必要に応じて、保護者や所属支援担当者を変えたケース会議を実施し、情報を共有し、適切な支援方法等について検討した際の取組を設ける。	

(1) 課題・方策

①関係機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	具体的な内容
①	心身に障害のある児童生徒及び保護者の相談事例に対して、適切な心理的援助等を行うことができるように、専門家からのアドバイスを受ける機会を設けたり、事例研究会を設立したりする。

(1) 取組

①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とつながりを感じた多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 43	機関名 長崎県教育センター
---	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	11 件	総回数	19 回
-----	------	-----	------

② 対象別内訳

小学生	0 件	0 回
中学生	1 件	1 回

③ 内容別内訳

就学・進学	0 件	0 回
卒業・進路	1 件	1 回
学校生活(個人相談等)	7 件	11 回
その他	0 件	0 回

④ 障害別内訳

知的障害	件	回
言語障害	件	回
発達障害	件	回
視覚障害	件	回
聴覚障害	件	回
重度・重覆	件	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	2 件	3 回
中学生	7 件	14 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	9 回	関係職員	180 回	本人	0 回	その他	4 回
-----	-----	------	-------	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	1 回	学習・指導法	0 回	学校生活(個人相談等)	14 回
卒業・進路	3 回	養育・家庭生活	1 回	情報提供	3 回
不登校・いじめ	0 回	その他	171 回		

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

(1) 機関名  
①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③教育センター  
④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
⑫その他( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

(2) 連携内容

①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1( )  
⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

(3) 成果

①関係機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1( ) ⑬その他2 ( )

(4) 課題

①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨関係機関の専門性  
⑩その他1( ) ⑪その他2 ( ) ⑫その他3 ( )  
⑬その他( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	具体的な内容
④ 平成30年度からスタートした長崎大学と連携した教育相談支援体制についての評価・改善	

(1) 課題・方策

①関係機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	具体的な内容
①	ケースカンファレンス(事前・事後)の実施、発達様式の検査法及び結果の解釈・分析等の研修の実施

(1) 取組

①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 44	機関名 熊本県立教育センター
---	------------	-------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

幼児・新学齢児	0 件	0 回	0 回
小学生	0 件	0 回	0 回
中学生	0 件	0 回	0 回
高校生	0 件	0 回	0 回
合計	0 件	0 回	0 回

② 対象別内訳

就学・進学	0 件	0 回	0 回
卒業・進路	0 件	0 回	0 回
学校生活(個人相談)	0 件	0 回	0 回
その他	0 件	0 回	0 回

③ 内容別内訳

知的障害	0 件	0 回	0 回
言語障害	0 件	0 回	0 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回
聴覚障害	0 件	0 回	0 回
発達障害	0 件	0 回	0 回
重度・重覆	0 件	0 回	0 回
その他	0 件	0 回	0 回

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	0 件	0 回	0 回
聴覚障害	0 件	0 回	0 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回
発達障害	0 件	0 回	0 回
その他	0 件	0 回	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	0 件	0 回	0 回
中学生	0 件	0 回	0 回
高校生	0 件	0 回	0 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	23 回	関係教員	0 回	本人	0 回	その他	3 回
-----	------	------	-----	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	3 回	学習・指導法	1 回	学校生活(個人相談)	1 回
卒業・進路	2 回	養育・家庭生活	2 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	2 回	その他	17 回		

③ 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

④ 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	必要に応じ情報提供等
-------	------------

(1) 課題・方策

①	②	③	④	⑤

(2) 関係機関との連携の推進・強化

①	②	③	④	⑤

(3) 学校等との連携

①	②	③	④	⑤

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	必要に応じ情報提供等
-------	------------

(1) 課題・方策

①	②	③	④	⑤

(2) 関係機関との連携の推進・強化

①	②	③	④	⑤

(3) 学校等との連携

①	②	③	④	⑤

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 45	機関名 大分県教育センター
---	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

幼児・新学齢児	0 件	0 回	0 回
小学生	2 件	6 回	6 回
中学生	0 件	0 回	0 回
高校生	0 件	0 回	0 回
合計	2 件	6 回	6 回

② 対象別内訳

就学・進学	0 件	0 回	0 回
卒業・進路	0 件	0 回	0 回
学校生活(個人相談)	0 件	0 回	0 回
その他	0 件	0 回	0 回

③ 内容別内訳

知的障害	0 件	0 回	0 回
言語障害	0 件	0 回	0 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回
聴覚障害	0 件	0 回	0 回
発達障害	3 件	7 回	7 回
重度・重覆	0 件	0 回	0 回
その他	0 件	0 回	0 回

④ 障害別内訳

自閉症・情緒障害	0 件	0 回	0 回
聴覚障害	1 件	1 回	1 回
視覚障害	0 件	0 回	0 回
発達障害	3 件	7 回	7 回
その他	0 件	0 回	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	0 件	0 回	0 回
中学生	1 件	1 回	1 回
高校生	0 件	0 回	0 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	3 回	関係教員	3 回	本人	0 回	その他	0 回
-----	-----	------	-----	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	0 回	学習・指導法	4 回	学校生活(個人相談)	0 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	0 回	情報提供	2 回
不登校・いじめ	0 回	その他	0 回		

③ 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

④ 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	特別支援学校のセンター的機能・巡回相談の当センター教育相談の役割分担の明確化
-------	--

(1) 課題・方策

①	②	③	④	⑤

(2) 関係機関との連携の推進・強化

①	②	③	④	⑤

(3) 学校等との連携

①	②	③	④	⑤

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	特別支援学校のセンター的機能・巡回相談の当センター教育相談の役割分担の明確化
-------	--

(1) 課題・方策

①	②	③	④	⑤

(2) 関係機関との連携の推進・強化

①	②	③	④	⑤

(3) 学校等との連携

①	②	③	④	⑤

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 46	機関名 宮崎県教育研修センター
---	------------	--------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	0 件	総回数	0 回
-----	-----	-----	-----

② 対象別内訳

小学生	0 件	0 回
中学生	0 件	0 回

③ 内容別内訳

就学・進学	0 件	0 回
卒業・進路	0 件	0 回
学習・指導法	0 件	0 回
養育・家庭生活	0 件	0 回
いじめ・不登校	0 件	0 回
その他	0 件	0 回

④ 障害別内訳

知的障害	0 件	0 回
言語障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	0 件	0 回
発達障害	0 件	0 回
重度・重覆	0 件	0 回
その他	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	0 件	0 回
中学生	0 件	0 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	1 回	関係教員	0 回	本人	14 回	その他	0 回
-----	-----	------	-----	----	------	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	0 回	学習・指導法	0 回	学校生活(個人相談等)	0 回
卒業・進路	0 回	養育・家庭生活	0 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	1 回	その他	14 回		

2 教育相談における連携している主な機関を(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

- (1) 機関名  
 ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )
- (2) 連携内容  
 ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1( )  
 ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )
- (3) 成果  
 ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な視点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1( ) ⑬その他2 ( )
- (4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他1( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	関係機関との連携による教育相談に対応できる体制づくり
取組	・担当専任や臨床心理士によるコンサルテーションなどを通じた支援の充実 ・最新の教育問題に関する情報共有

- (1) 課題・方策  
 ①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	・具体的な内容 ①
----	--------------

- (1) 取組  
 ①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 数なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 47	機関名 鹿児島県総合教育センター
---	------------	---------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	65 件	総回数	65 回
-----	------	-----	------

② 対象別内訳

小学生	4 件	4 回
中学生	16 件	16 回

③ 内容別内訳

就学・進学	4 件	4 回
卒業・進路	0 件	0 回
学習・指導法	25 件	25 回
養育・家庭生活	0 件	0 回
いじめ・不登校	1 件	1 回
その他	15 件	15 回

④ 障害別内訳

知的障害	4 件	4 回
言語障害	1 件	1 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	24 件	24 回
発達障害	0 件	0 回
重度・重覆	0 件	0 回
その他	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	25 件	25 回
中学生	7 件	7 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	178 回	関係教員	83 回	本人	3 回	その他	36 回
-----	-------	------	------	----	-----	-----	------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	33 回	学習・指導法	77 回	学校生活(個人相談等)	54 回
卒業・進路	11 回	養育・家庭生活	0 回	情報提供	0 回
不登校・いじめ	30 回	その他	96 回		

2 教育相談における連携している主な機関を(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

- (1) 機関名  
 ①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )
- (2) 連携内容  
 ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1( )  
 ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )
- (3) 成果  
 ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な視点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1( ) ⑬その他2 ( )
- (4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他1( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	相談支援における各機関の役割の明確化
取組	・具体的な内容 ①

- (1) 課題・方策  
 ①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	・具体的な内容 ①
----	--------------

- (1) 取組  
 ①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方

機関番号 48  
 機関名 沖縄県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び帰回数

総件数	21 件	総回	21 回
幼児・新学齢児	2 件	2 回	2 回
中学生	4 件	4 回	4 回

② 対象別内訳

小学生	8 件	8 回
高校生	7 件	7 回

③ 内容別内訳

就学・進学	1 件	1 回
卒業・進路	1 件	1 回
学校生活(個人相談)	6 件	6 回
その他	1 件	1 回

④ 障害別内訳

知的障害	5 件	5 回
言語障害	0 件	0 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	15 件	15 回
発達障害	0 件	0 回
重症・重傷	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通算の学級に在籍する児童生徒

小学生	8 件	8 回
高校生	7 件	7 回
中学生	4 件	4 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	80 回	関係教員	7 回	本人	0 回	その他	0 回
-----	------	------	-----	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	2 回	学習・指導法	27 回	学校生活(個人相談)	30 回
卒業・進路	6 回	養育・家庭生活	4 回	情報提供	4 回
不登校・いじめ	5 回	その他	9 回		

2 教育相談における連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択番号を、選んで回答

(1) 機関名

①	②	③	④	⑤	⑥
①	②	③	④	⑤	⑥
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯

(2) 連携内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の在り方(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 課題

①	②	③	④	⑤
①	②	③	④	⑤

(2) 具体的な内容

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実

④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築

⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

9 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 取組

①	②	③	④	⑤
①	②	③	④	⑤

(2) 具体的な内容

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実

④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築

⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

10 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 取組

①	②	③	④	⑤
①	②	③	④	⑤

(2) 具体的な内容

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実

④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築

⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
 教育相談に関する事項  
 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方

機関番号 49  
 機関名 千葉市養護教育センター

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び帰回数

総件数	1508 件	総回	7470 回
幼児・新学齢児	358 件	358 回	358 回
中学生	219 件	219 回	219 回

② 対象別内訳

小学生	931 件	931 回
高校生	0 件	0 回

③ 内容別内訳

就学・進学	418 件	418 回
卒業・進路	85 件	85 回
学校生活(個人相談)	302 件	302 回
その他	182 件	182 回

④ 障害別内訳

知的障害	198 件	198 回
言語障害	34 件	34 回
視覚障害	0 件	0 回
聴覚障害	795 件	795 回
発達障害	0 件	0 回
重症・重傷	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	882 件	882 回
高校生	0 件	0 回
中学生	182 件	182 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	4123 回	関係教員	1532 回	本人	18 回	その他	470 回
-----	--------	------	--------	----	------	-----	-------

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	755 回	学習・指導法	940 回	学校生活(個人相談)	781 回
卒業・進路	252 回	養育・家庭生活	1255 回	情報提供	8 回
不登校・いじめ	0 回	その他	1212 回		

2 教育相談における連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択番号を、選んで回答

(1) 機関名

①	②	③	④	⑤	⑥
①	②	③	④	⑤	⑥
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯

(2) 連携内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

(3) 成果

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

(4) 課題

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の在り方(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 課題

①	②	③	④	⑤
①	②	③	④	⑤

(2) 具体的な内容

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実

④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築

⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

11 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 取組

①	②	③	④	⑤
①	②	③	④	⑤

(2) 具体的な内容

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実

④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築

⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

12 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 取組

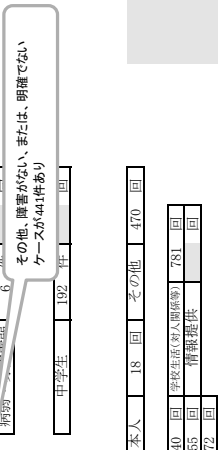
①	②	③	④	⑤
①	②	③	④	⑤

(2) 具体的な内容

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実

④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築

⑤ 学校等との連携 ⑥ その他



第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と対応する相談支援体制の在り方 障がなニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 50	機関名 川崎市総合教育センター-特別支援教育センター
---	------------	-------------------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	2093 件	総回数	8266 回
-----	--------	-----	--------

② 対象別内訳

幼児・新学齢児	636 件	中学生	91 件
小学生	885 件	高校生	4 件
学習・指導法	248 件	学習・指導法	0 件
養育・家庭生活	0 件	養育・家庭生活	0 件
いじめ・不登校	0 件	いじめ・不登校	0 件
その他	184 件	その他	0 件

③ 障害別内訳

知的障害	356 件	回	624 件
発達障害	11 件	回	15 件
視覚障害	3 件	回	20 件
聴覚障害	255 件	回	19 件
重度・重覆	14 件	回	0 件
自閉症・情緒障害	624 件	回	0 件
聴覚障害	15 件	回	0 件
視覚障害	3 件	回	0 件
聴覚障害	255 件	回	0 件
重度・重覆	14 件	回	0 件

④ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	0 件	中学生	0 件
高校生	0 件	高校生	0 件

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	439 回	関係教員	53 回	本人	119 回	その他	0 回
-----	-------	------	------	----	-------	-----	-----

② 電話相談の内訳別内訳

学習・指導法	61 回	学習・指導法	0 回	学習・指導法(本人相談等)	26 回
養育・家庭生活	86 回	養育・家庭生活	0 回	養育・家庭生活	0 回
いじめ	63 回	いじめ	0 回	その他	335 回
不登校	0 回	不登校	0 回	その他	0 回

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

(1) 機関名  
①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

(2) 連携内容  
①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

(3) 成果  
①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な視点からの相談  
④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( )

(4) 課題  
①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
④個人情報保護を踏まえた情報共有や連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	就学相談や連携相談にかかわるシステムの見直しや周知のための方法を検討中。
①	課題・方策
②	課題・方策
③	課題・方策
④	課題・方策

(1) 課題・方策

①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実

④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築

⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	外部講師を依頼して、事例研究会を実施。
①	取組
②	取組
③	取組
④	取組

(1) 取組

①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と対応する相談支援体制の在り方 障がなニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 51	機関名 横浜市特別支援教育総合センター
---	------------	------------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力方法が第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	4321 件	総回数	4321 回
-----	--------	-----	--------

② 対象別内訳

幼児・新学齢児	2141 件	小学生	1970 件
中学生	210 件	高校生	0 件
学習・指導法	4321 件	学習・指導法	0 件
養育・家庭生活	0 件	養育・家庭生活	0 件
いじめ・不登校	0 件	いじめ・不登校	0 件
その他	0 件	その他	0 件

③ 障害別内訳

知的障害	1144 件	回	1144 件
発達障害	315 件	回	315 件
視覚障害	17 件	回	17 件
聴覚障害	1310 件	回	1310 件
重度・重覆	0 件	回	0 件
自閉症・情緒障害	1144 件	回	1146 件
聴覚障害	315 件	回	38 件
視覚障害	17 件	回	80 件
聴覚障害	1310 件	回	1 件
重度・重覆	0 件	回	0 件

④ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	1693 件	中学生	181 件
高校生	0 件	高校生	0 件

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	0 回	関係教員	0 回	本人	0 回	その他	0 回
-----	-----	------	-----	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内訳別内訳

学習・指導法	0 回	学習・指導法	0 回	学習・指導法(本人相談等)	0 回
養育・家庭生活	0 回	養育・家庭生活	0 回	養育・家庭生活	0 回
いじめ	0 回	いじめ	0 回	その他	0 回
不登校	0 回	不登校	0 回	その他	0 回

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

(1) 機関名  
①発達障害者支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

(2) 連携内容  
①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

(3) 成果  
①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な視点からの相談  
④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( )

(4) 課題  
①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
④個人情報保護を踏まえた情報共有や連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	不登校等を担当する教育相談センターとの連携の強化
①	課題・方策
②	課題・方策
③	課題・方策
④	課題・方策

(1) 課題・方策

①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実

④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築

⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	定期的なミーティング/研修を行い共通理解を図り、判断基準に差が出ないように努めている。
①	取組
②	取組
③	取組
④	取組

(1) 取組

①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 52	機関名 名古屋支援センター
---	------------	------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

総件数	400 件	総回数	719 回
② 対象別内訳			
小学生	8 件	11 回	
中学生	57 件	102 回	

③ 内容別内訳

就学・進学	9 件	11 回	
卒業・進路	3 件	3 回	
学習・指導法	370 件	687 回	
養育・家庭生活	0 件	0 回	
いじめ・不登校	0 件	0 回	
その他	18 件	18 回	

④ 障害別内訳 ※未集計

知的障害	44 件	86 回	
言語障害	13 件	13 回	
聴覚障害	3 件	3 回	
視覚障害	52 件	98 回	
発達障害	0 件	0 回	
重症・重傷	0 件	0 回	

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	308 件	568 回
中学生	3 件	5 回
高校生		

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	411 回	関係教員	604 回	本人	0 回	その他	9 回
-----	-------	------	-------	----	-----	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	104 回	学習・指導法	877 回	学校生活(本人相談等)	5 回
卒業・進路	13 回	養育・家庭生活	0 回	情報提供	20 回
不登校・いじめ	0 回	その他	2 回		

2 教育相談における連携している主な機関(1)から3つを選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

① 発達障害支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む) ③ 療育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他1 (教育相談センター) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

(2) 連携内容

① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )  
⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

(3) 成果

① 他機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な観点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( )

(4) 課題

① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
④ 個人情報保護を踏まえた情報共有や連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )  
⑭ その他 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題

課題・方策	他の相談機関との連携の強化、総合相談機関の整備・拡充
-------	----------------------------

(1) 課題

① 他機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 取組

取組	年度当初を中心に、定期的に研修会を設けている。
----	-------------------------

(1) 取組

① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域とのつながりを大切にしたい多 様なニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 53	機関名 京都市総合教育センター (総合育成支援課)
---	------------	---------------------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの第2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回

総件数	1237 件	総回数	
② 対象別内訳			
小学生	90 件		
中学生	122 件		

③ 内容別内訳

就学・進学	116 件	
卒業・進路	485 件	
学習・指導法	356 件	
養育・家庭生活		
いじめ・不登校		
その他		

④ 障害別内訳 ※未集計(1,2,3,7,8,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22)

知的障害	件	
言語障害	件	
聴覚障害	件	
視覚障害	件	
発達障害	件	
重症・重傷	件	

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件
中学生	件
高校生	件

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	52 回	関係教員	回	本人	回	その他	4 回
-----	------	------	---	----	---	-----	-----

② 電話相談の内容別内訳

就学・進学	4 回	学習・指導法	36 回	学校生活(本人相談等)	回
卒業・進路	3 回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	13 回		

2 教育相談における連携している主な機関(1)から3つを選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

① 発達障害支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む) ③ 療育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他1 (教育相談センター) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

(2) 連携内容

① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )  
⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

(3) 成果

① 他機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な観点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( )

(4) 課題

① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
④ 個人情報保護を踏まえた情報共有や連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )  
⑭ その他 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 課題

課題・方策	教育相談内容の多様化に対応するための人材育成を図る。その専門性をより高め、必要である。また、具体的な事例等について関係機関との十分な情報共有が必要である。
-------	---

(1) 課題

① 他機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

① 取組

取組	センターの機能を充実させ、その専門性を高めるための取組を行っている。
----	------------------------------------

(1) 取組

① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
**教育相談に関する事項**  
 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方

機関番号 54  
 機関名 大阪府教育委員会事務局 指導部  
 インクルーシブ教育推進室

※機関番号、機関名は、本フォームの下部2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）  
 (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	523 件	総回数	1641 回
幼児・新学齢児	41 件	中学生	回
中学生	44 件	高校生	回

2 対象別内訳

就学・進学	31 件	回
卒業・進路	2 件	回
学校生活(個人関係)	200 件	回
その他	2 件	回

3 内容別内訳

知的障害	20 件	回
言語障害	1 件	回
視覚障害	1 件	回
聴覚障害	9 件	回
発達障害	9 件	回
重症・重傷	2 件	回

4 障害別内訳

自閉症・情緒障害	19 件	回
知的障害	1 件	回
聴覚障害	1 件	回
視覚障害	1 件	回
発達障害	9 件	回
その他	2 件	回

5 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	361 件	回
中学生	0 件	回
高校生	0 件	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

1 電話相談の対象別内訳

保護者	回	関係教員	回	本人	回	その他	回
-----	---	------	---	----	---	-----	---

2 電話相談の内訳別内訳

現学・進路	回	学習・指導法	回	学校生活(個人関係)	回
卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	回		回

3 教育相談において連携している機関数(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨

機関名  
 ①発達障害支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

(2) 連携内容  
 ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
 ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

(3) 成果  
 ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( )

(4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題	具体的な内容
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	

(1) 課題・方策  
 ①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	具体的な内容
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	

(1) 取組  
 ①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会  
**教育相談に関する事項**  
 関係機関や地域と応える相対支援体制の在り方

機関番号 55  
 機関名 広島市教育センター  
 本教育センターで相談業務は実施していない

※機関番号、機関名は、本フォームの下部2分科会以降に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）  
 (1) 特別支援教育に関する来所相談実績  
 (1) 来所相談の総件数及び総回数

総件数	件	総回数	回
幼児・新学齢児	件	中学生	回
中学生	件	高校生	回

2 対象別内訳

就学・進学	件	回
卒業・進路	件	回
学校生活(個人関係)	件	回
その他	件	回

3 内容別内訳

知的障害	件	回
言語障害	件	回
視覚障害	件	回
聴覚障害	件	回
発達障害	件	回
重症・重傷	件	回

4 障害別内訳

自閉症・情緒障害	件	回
知的障害	件	回
聴覚障害	件	回
視覚障害	件	回
発達障害	件	回
その他	件	回

5 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	回
中学生	件	回
高校生	件	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

1 電話相談の対象別内訳

保護者	回	関係教員	回	本人	回	その他	回
-----	---	------	---	----	---	-----	---

2 電話相談の内訳別内訳

現学・進路	回	学習・指導法	回	学校生活(個人関係)	回
卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	回	その他	回		回

3 教育相談において連携している機関数(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)  
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨

機関名  
 ①発達障害支援センター ②医療機関(医療センター等を含む。) ③療育センター  
 ④児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥特別支援学校  
 ⑦大学・大学附属機関 ⑧市町村教育委員会 ⑨保健所・保健センター ⑩精神保健福祉センター ⑪ハローワーク  
 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( ) ⑭その他3 ( )

(2) 連携内容  
 ①情報交換、情報共有 ②医療的診断 ③相談連携 ④支援依頼 ⑤検査依頼 ⑥支援内容・方法の検討  
 ⑦事例検討会 ⑧支援会議 ⑨指導・助言 ⑩研修協力 ⑪その他1 ( )  
 ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

(3) 成果  
 ①他機関との円滑な連携が可能 ②より専門的な相談の実施 ③医療的な観点からの相談  
 ④支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤情報収集や情報共有 ⑥就学相談の推進 ⑦支援の継続が可能  
 ⑧学校・地域に密着した支援 ⑨教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩就労率の向上  
 ⑪子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫その他1 ( ) ⑬その他2 ( )

(4) 課題  
 ①関連機関との連携 ②検討・協議時間の不足 ③関連機関との日程調整  
 ④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥件数増加による対応  
 ⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧役割分担の明確化 ⑨継続的な相談 ⑩関係職員の専門性  
 ⑪その他1 ( ) ⑫その他2 ( ) ⑬その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の方策を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題	具体的な内容
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	

(1) 課題・方策  
 ①他機関との連携の推進・強化 ②相談担当者の専門性の向上 ③理解啓発・情報発信の充実  
 ④関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
 ⑤学校等との連携 ⑥その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	具体的な内容
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	

(1) 取組  
 ①所内研修の実施 ②外部研修への参加 ③相談員同士の情報交換 ④関係機関との情報交換 ⑤その他

「電話相談に関しては、特別支援教育に関する統計は取っておりません。」

相談回数は内訳ごと集計していません

図に記入した内容に  
 関係機関や地域と  
 応える相対支援体  
 制の在り方

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域等との連携に関する相談支援体制の在り方 障がなニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 56	機関名 北九州市立特別支援教育相談センター
---	------------	--------------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	805 件	総回数	2242 回
② 対象別内訳			
幼児・新学齢児	164 件	398 回	
中学生	60 件	129 回	

③ 内容別内訳

就学・進学	184 件	458 回
卒業・進路	12 件	32 回
学校生活(個人相談等)	308 件	885 回
その他	6 件	18 回

④ 障害別内訳

知的障害	205 件	560 回
言語障害	99 件	269 回
発達障害	0 件	0 回
肢体不自由	501 件	1412 回
重度・重覆	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	581 件	1715 回
中学生	0 件	0 回
高校生	24 件	64 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	32 回	関係教員	0 回	本人	0 回	その他	0 回
② 電話相談の内容別内訳							
就学・進学	6 回	学習・指導法	3 回	学校生活(個人相談等)	7 回		
卒業・進路	1 回	養育・家庭生活	3 回	情報提供	10 回		
不登校・いじめ	1 回	その他	1 回				

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩
⑪	⑪	⑪	⑪
⑫	⑫	⑫	⑫
⑬	⑬	⑬	⑬
⑭	⑭	⑭	⑭
⑮	⑮	⑮	⑮
⑯	⑯	⑯	⑯
⑰	⑰	⑰	⑰
⑱	⑱	⑱	⑱
⑲	⑲	⑲	⑲
⑳	⑳	⑳	⑳

(1) 機関名  
① 発達障害者支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 療育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

(2) 連携内容  
① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )  
⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

(3) 成果  
① 他機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な視点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( )

(4) 課題  
① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 課題  
① 課題  
② 方針  
③ 連携の推進  
④ 関係機関との連携  
⑤ 学校等との連携  
⑥ その他

(2) 具体的な内容を記入  
① 課題  
② 方針  
③ 連携の推進  
④ 関係機関との連携  
⑤ 学校等との連携  
⑥ その他

(3) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(4) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(5) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(6) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(7) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(8) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(9) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(10) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(11) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(12) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(13) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(14) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(15) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(16) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(17) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(18) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(19) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(20) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(21) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(22) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(23) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(24) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(25) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(26) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(27) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(28) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(29) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(30) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(31) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(32) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(33) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域等との連携に関する相談支援体制の在り方 障がなニーズに応える相談支援体制の在り方	機関番号 57	機関名 福岡市教育委員会 発達教育センター
---	------------	--------------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの入力者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

総件数	670 件	総回数	2200 回
② 対象別内訳			
幼児・新学齢児	2 件	6 回	
中学生	124 件	465 回	

③ 内容別内訳

就学・進学	29 件	75 回
卒業・進路	0 件	0 回
学校生活(個人相談等)	199 件	688 回
その他	2 件	5 回

④ 障害別内訳

知的障害	57 件	187 回
言語障害	55 件	242 回
発達障害	6 件	25 回
肢体不自由	318 件	898 回
重度・重覆	0 件	0 回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	468 件	1449 回
中学生	0 件	0 回
高校生	0 件	0 回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

① 電話相談の対象別内訳

保護者	回	関係教員	回	本人	回	その他	回
② 電話相談の内容別内訳							
就学・進学	回	学習・指導法	回	学校生活(個人相談等)	回		
卒業・進路	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回		
不登校・いじめ	回	その他	回				

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩
⑪	⑪	⑪	⑪
⑫	⑫	⑫	⑫
⑬	⑬	⑬	⑬
⑭	⑭	⑭	⑭
⑮	⑮	⑮	⑮
⑯	⑯	⑯	⑯
⑰	⑰	⑰	⑰
⑱	⑱	⑱	⑱
⑲	⑲	⑲	⑲
⑳	⑳	⑳	⑳

(1) 機関名  
① 発達障害者支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 療育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( ) ⑭ その他3 ( )

(2) 連携内容  
① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1 ( )  
⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

(3) 成果  
① 他機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な視点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1 ( ) ⑬ その他2 ( )

(4) 課題  
① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
⑪ その他1 ( ) ⑫ その他2 ( ) ⑬ その他3 ( )

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

(1) 課題  
① 課題  
② 方針  
③ 連携の推進  
④ 関係機関との連携  
⑤ 学校等との連携  
⑥ その他

(2) 具体的な内容を記入  
① 課題  
② 方針  
③ 連携の推進  
④ 関係機関との連携  
⑤ 学校等との連携  
⑥ その他

(3) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(4) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(5) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(6) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(7) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(8) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(9) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(10) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(11) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(12) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(13) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(14) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(15) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(16) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

(17) 関係機関との連携  
① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と対応できる相談支援体制の在り方	機関番号 58	機関名 静岡市特別支援教育センター
--	------------	----------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

幼児・新学齢児	313	件	総回数	874	回
中学生	736	件			回

② 対象別内訳

小学生	2	件	294	回
中学生	2	件	294	回

③ 内容別内訳

就学・進学	6	件	6	回
卒業・進路	5	件	5	回
学校生活(個人相談等)	28	件	28	回
その他	151	件	151	回

④ 障害別内訳

知的障害	件	回
言語障害	件	回
聴覚障害	件	回
視覚障害	件	回
発達障害	件	回
重度・重覆	件	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	回
中学生	件	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	137	回	関係教員	回	本人	回	その他	回
-----	-----	---	------	---	----	---	-----	---

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	16	回	学習・指導法	回	学校生活(個人相談等)	回
卒業・進路	10	回	養育・家庭生活	回	情報提供	回
不登校・いじめ	183	回	その他	回		回

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

(1) 機関名

① 発達障害者支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 療育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他1) ⑬ その他2) ⑭ その他3)

(2) 連携内容

① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1)  
⑫ その他2) ⑬ その他3)

(3) 成果

① 関係機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な視点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1)  
⑬ その他2) ⑭ その他3)

(4) 課題

① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
⑪ その他1) ⑫ その他2) ⑬ その他3)

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の在り方(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	相談件数の増加・内容の多様化が進んでいる。各機関の機能を明確にし、役割の異なる相談体 制を整える必要がある。
-------	---

(1) 課題

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	特別支援教育に関する研修会に相談担当者を積極的に参加させる。
----	--------------------------------

(1) 取組

① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

第42回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（京都府大会）聴取事項調査票

第1分科会 教育相談に関する事項 関係機関や地域と対応できる相談支援体制の在り方	機関番号 59	機関名 浜松市教育総合支援センター
--	------------	----------------------

※機関番号、機関名は、本アンケートの記入者が第2分科会協議会に反映されます

1 教育相談の現状について（平成29年度実績を記入）

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績

① 来所相談の総件数及び総回数

幼児・新学齢児	2	件	2	回
中学生	294	件	294	回

② 対象別内訳

小学生	156	件	156	回
高校生	4	件	4	回

③ 内容別内訳

就学・進学	6	件	6	回
卒業・進路	5	件	5	回
学校生活(個人相談等)	28	件	28	回
その他	189	件	189	回
	76	件	76	回

④ 障害別内訳

知的障害	件	回
言語障害	件	回
聴覚障害	件	回
視覚障害	件	回
発達障害	件	回
重度・重覆	件	回

⑤ 来所相談に占める通常の学級に在籍する児童生徒

小学生	件	回
中学生	件	回

(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

保護者	823	回	関係教員	36	回	本人	20	回	その他	73	回
-----	-----	---	------	----	---	----	----	---	-----	----	---

② 電話相談の内訳別内訳

就学・進学	16	回	学習・指導法	121	回	学校生活(個人相談等)	31	回
卒業・進路	10	回	養育・家庭生活	144	回	情報提供	0	回
不登校・いじめ	183	回	その他	147	回			回

2 教育相談において連携している主な機関(1)から3つ選択し、その連携内容・成果、課題を(2)～(4)から選択(5つまで)

※各欄、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(1)機関名	(2)連携内容	(3)成果	(4)課題
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤

(1) 機関名

① 発達障害者支援センター ② 医療機関(医療センター等を含む。) ③ 療育センター  
④ 児童相談所(子ども家庭相談センター) ⑤ 学校園(保幼小中高義務教育学校等) ⑥ 特別支援学校  
⑦ 大学・大学附属機関 ⑧ 市町村教育委員会 ⑨ 保健所・保健センター ⑩ 精神保健福祉センター ⑪ ハローワーク  
⑫ その他1) ⑬ その他2) ⑭ その他3)

(2) 連携内容

① 情報交換、情報共有 ② 医療的診断 ③ 相談連携 ④ 支援依頼 ⑤ 検査依頼 ⑥ 支援内容・方法の検討  
⑦ 事例検討会 ⑧ 支援会議 ⑨ 指導・助言 ⑩ 研修協力 ⑪ その他1)  
⑫ その他2) ⑬ その他3)

(3) 成果

① 関係機関との円滑な連携が可能 ② より専門的な相談の実施 ③ 医療的な視点からの相談  
④ 支援対象や支援内容の幅の拡大 ⑤ 情報収集や情報共有 ⑥ 就学相談の推進 ⑦ 支援の継続が可能  
⑧ 学校・地域に密着した支援 ⑨ 教職員、所属、相談員等の専門性の向上 ⑩ 就労率の向上  
⑪ 子どもの理解及び対応方針の明確化 ⑫ その他1)  
⑬ その他2) ⑭ その他3)

(4) 課題

① 関連機関との連携 ② 検討・協議時間の不足 ③ 関連機関との日程調整  
④ 個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方 ⑤ 連携できる医療機関・診断機関の不足 ⑥ 件数増加による対応  
⑦ 意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む。) ⑧ 役割分担の明確化 ⑨ 継続的な相談 ⑩ 関係職員の専門性  
⑪ その他1) ⑫ その他2) ⑬ その他3)

3 教育相談の連携における課題・センターとしての今後の在り方(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

課題・方策	具体的内容 児童発達支援事業所や放課後デイサービスの福祉関係の機関と連携した地域の支援ネット ワークの構築
-------	---

(1) 課題

① 関係機関との連携の推進・強化 ② 相談担当者の専門性の向上 ③ 理解啓発・情報発信の充実  
④ 関係機関との連携のためのシステム作り、地域の支援ネットワークの構築  
⑤ 学校等との連携 ⑥ その他

4 教育相談担当者の資質向上の取組を(1)から1つ選択し、その具体的な内容を記入

取組	関係機関との情報交換を密にし、相談者に対し、的確な情報提供ができるようにする
----	--

(1) 取組

① 所内研修の実施 ② 外部研修への参加 ③ 相談員同士の情報交換 ④ 関係機関との情報交換 ⑤ その他

